

尋常小學修身書 兒童用	二								
同	三								
同	四								
計									
尋常小學讀本	一								
同	三								
同	五								
同	七								
計									

(以下此例ニ倣ヒ列記ノコト)	
合	計

備考

- 一、學校、兒童ニ於テ使用スル國定教科書ハ洩ナク記載ノコト
- 二、需用冊數ハ學校、兒童ニ於テ使用スヘキ冊數ヲ掲上スルコト
- 三、供給濟冊數ハ學校、兒童ニ實際供給セラレタル冊數ヲ掲上スルコト
- 四、供給不足冊數ハ需用冊數ニ對スル供給濟冊數ノ差數ヲ掲上シ其不足ノ理由ヲ備考ニ説明スルコト
- 五、前年以前ニ於ケル古本使用冊數トハ或ル事故ニ依リ當期新ニ購入ヲナサスシテ前年以前ノ古本ヲ繼續又ハ讓受使用スル冊數ヲ云フ

○全月欠席兒童調提出ニ關スル件

(大正三年七月八日
特學第一〇四七號通牒)

各小學校長

全月欠席兒童アル場合ハ左記様式ニ依リ毎月兒童出席月計表ニ添付相成度此段及通牒候也

記

全月欠席兒童調

住 所	氏 名	保 護 者 名	學 年	兒 童 氏 名	欠 席 日 數	督 促 回 數	督 促 日 數	督 促 告 白 日 數

本調査ハ出席月計表ノ欠席兒童數ト符合スヘキ者トス

○臣民喪服ニ關スル件

(大正元年七月三十一日
號外通牒)

各町村長

大喪中ハ皇室服喪令ノ規定ニ依リ一年間臣民喪服スヘキ儀ニ付一般ニ周知方取計フヘシ

○喪章ニ關スル件

(大正元年八月一日
官第八號知事官房通牒)

郡役所

本日閣令ヲ以テ皇室喪服規程其他別段ノ定メアルモノノ外喪章ヲ左ノ通定メラル

一、和服ハ左胸ニ蝶形結ノ黒布ヲ付ス

一、洋服ハ左腕ニ黒布ヲ纏フ

諸官員ハ右喪章ヲ付スヘキハ勿論トス

右及通牒候也

○大葬儀ニ關スル件

(大正三年八月二日
號外通牒)

各町村長

廢朝中並 大葬儀當日(御發棺御埋棺ノ日ヲ含ム)ニハ一般人民弔旗ヲ掲揚シテ哀悼ノ誠意ヲ表シ奉ルヘク洩レ無ク特急諭達方取計ハルヘシ
追テ各小學校ニハ直チニ故夫ニテ通達セラルヘシ

○大喪ニ關スル件

(大正元年八月三日
牡學第二四號通牒)

各小學校長

石卷實科高等女學校長

大喪ニ付公私立各學校ニ於テハ臣民ノ喪期間生徒兒童ヲシテ左ノ通心得シム可キ旨申來候條了知相成度此段及通牒候也

記

- 一、謹慎靜肅ヲ旨トシ御哀悼ノ誠意ヲ致サシムヘシ
- 一、服裝、リボン、其他ノ裝飾ハ目立ツ可キモノハ之ヲ避ケシムヘシ
- 一、娛樂ノ爲ニスル催ハ之ヲ遠慮セシムヘシ

○大葬儀當日小學校ニ於テ遙拜式舉行ニ關スル件

(大正元年九月九日
牡學第一八七號通牒)

各町村長

來十三日 大葬儀當日小學校ニ於ケル遙拜式舉行ニ際シテハ 御眞影ヲ奉掲セサル方ヲ適當ト認ムル旨其筋申來候條右ハ特ニ部内各小學校ニ通達方被取計度此段及通牒候也

○大喪中除出仕ヲ命スル辭令式

(大正元年八月二十七日
官第一〇三號知事官房通牒)

郡長
大喪中除出仕ヲ命スル辞令式左ノ通被定候間此段及通牒候也

辞令式
忌引ヲ免ス

○喪章纏附ニ關スル件

(大正元年九月二十八日)
(三教第八八七號内務部長通牒)

各郡市長

本月二十一日閣令第三號發布ノ結果大喪第一期以後學校職員生徒喪章纏附ノ可否ニ關シ往々伺出ノ向有之候處右ハ郡市長ニ於テ適宜取定メ可然義ト存候條爲念此段申進候也

○トラホーム患者名簿調製ニ關スル件

(明治四十四年三月七日)
(牡學第二五五號通牒)

各小學校長

四十一年二月縣訓令甲第五號第一條ニ依リ調製スル患者名簿ハ其都度整理ヲナスヘキ筈ニ有之候處往々右整理ヲ等閑ニ付スル向有之不都合ニ候條自今必ス遲滯ナク整理相成度爲念此段及通牒候也

○小學校兒童年齡ニ關スル件

(明治三十九年七月十六日)
(牡學第一四八一號通牒)

各小學校長

小學校ニ於テ兒童ノ事實年齡公簿上ノ年齡ヨリ長セリトノ理由ヲ以テ其公簿年齡相當以上ノ學年級ニ編入シ又ハ進級セシムルコト之レアシヤニ聞及候處公簿上ノ年齡以外ニ事實ノ年齡ナルモノヲ認ムヘキ筋ニ無之候條將來何等ノ理由アルモ公簿年齡相當以上ノ學年級ニ編入シ又ハ進級セシムルコト無之様注意相成度此段及通牒候也

○時間勵行ニ關スル件

(明治三十七年十二月二十日)
(牡學第一六九七號通牒)

各小學校長

學校ニ於テ時間ヲ恪守スヘキハ勿論ノ儀ニ候得共卒業式等ノ場合ニ於テ地方在來ノ弊習ヲ襲守シ來賓ノ參集其他準備上ノ都合ニ依リ往々時間ヲ遷引シ空シク經過候向モ有之候處右ハ生徒兒童ノ訓育上並ニ社會教育上ニモ關係有之儀ニ付爾今必既定ノ時間ヲ勵行候様特ニ御注意方御取計相成度此段及通牒候也

○學術研究教授標本用ニ供スル爲メ狩獵出願ノ件

(明治三十八年十一月十六日)
(學第八八〇四號第二部長通牒)

郡長

小學校ニ於テ學術研究教授標本用ニ供スル爲メ一郡市凡ニ二學校人名二名ヲ程度トシ許可

相成ルヘキ内定ノ處爾來同一學校ニ於テ年々出願ノ向キアリ又ハ出願絶無ノ郡市モ有之右ハ漸次一般ノ學校ニ教授標本ヲ備フ可キ趣旨ヲモ貫徹セス又一方ニハ濫獲ノ弊ナキヲ保シ難ク旁以テ今回左ノ通廳議決定相成候間貴官ニ於テ御監督ノ上可成各校ニ行渡リ候様致サセ度尤甲學校ニ於テ捕獲セシモノヲ乙學校ニ分配保存等適宜御取計有之度依命此段及通牒候也

追テ別表ニ依リ本年度ノ割當ニ該當セサル願書ハ返付セラルヘク又出願セントスル向ハ差控ヘシメラレ度爲念此段申添候也

記

一、管内各郡市ヲ二分シ隔年ニ一郡市一校限リ許可セララルヘキ事、但甲郡ニ於テ其年出願ノ見込ナキトキハ乙郡ニ於テ重ネテ出願スルヲ得ヘシ此場合ニハ甲乙兩郡協議決定ノ要領ヲ豫メ報告スル事(願書ハ所在警察署ヲ經テ第四部へ報告ハ第二部へ提出ノコト以下同シ)

二、當該年度ニ於テ出願セシムヘキ學校名及捕獲者ヲ定メ出願期日二週間前ニ其旨ヲ報

告スル事

三、捕獲期限經過後二週間以内ニ捕獲物ノ名稱員數並ニ之レカ處理保存ノ方法ヲ調査シ報告スル事

四、隔年出願ノ郡市ヲ左ノ通相定メ以下毎年此順序ニヨリ出願セシメラルヘキ事

鳥獸捕獲出願郡市年度豫定表

加美郡	黒川郡	加美郡	黒川郡	加美郡	黒川郡
名取郡	宮城郡	名取郡	宮城郡	名取郡	宮城郡
伊具郡	亘理郡	伊具郡	亘理郡	伊具郡	亘理郡
刈田郡	柴田郡	刈田郡	柴田郡	刈田郡	柴田郡
明治三十八年度	同三十九年度	同四十年年度	同四十一年度		

講習會開設届ニ關スル件

郡長

(大正二年七月十七日)
(教第一一五二號内務部長通牒)

志田郡	玉造郡	志田郡	玉造郡	志田郡	玉造郡
遠田郡	桃生郡	遠田郡	桃生郡	遠田郡	桃生郡
栗原郡	登米郡	栗原郡	登米郡	栗原郡	登米郡
牡鹿郡	本吉郡	牡鹿郡	本吉郡	牡鹿郡	本吉郡
仙臺市	○	仙臺市	○	仙臺市	○

公私設ヲ問ハス講習會開設ノ場合ニ際シテハ開會前ニ於テ其要項ヲ具シ届出ツヘキノ處中ニハ往々遅延ノ向有之監督上支障不尠候條自今少クモ開會七日前ニ當廳へ着候様届出

ノ御取計相成度依命此段及通牒候也

○公文例式ニ關スル件

(大正二年七月九日)
官第一三三二號知事官房通牒)

郡長

上申、報告、伺等其他往復文書ハ其初行ニ「何々ノ件稟請」上申、報告、伺)又ハ「何々ノ件照會(依頼、通牒、回答)」等事件ノ要領ヲ標記相成ルヘク依命此段及通牒候也

○職員勤務表調製ニ關スル件

(明治四十四年十二月八日)
牡學第一七一〇號通牒)

各小學校長

職員勤務狀況ハ慎重ニ調査スヘキハ勿論ノ儀ニ候處往々右疎漏ニ陥ル向有之不都合ニ候條自今左記事項ニ留意シ無遺算調査候様措置相成度此段及通牒候也

記

三十四年一月縣令第三號第十條職員勤務表

- 一、賜暇欄ニハ父母ノ祭日ニ相當シ休暇シタルトキノミヲ記入スヘシ
- 二、試験檢定及入學試験受験、其他請暇ノモノハ凡テ事故欄ニ記入シ其旨必ス備考ニ付記スヘシ
- 三、遅刻早引ハ脱漏ナク記入スヘシ

○兒童出席月計表ニ關スル件

(明治四十五年四月二十四日)
牡學第三八六號通牒)

各小學校長

兒童出席月計表受持教員中准代教員ニ對シテハ自今同欄ニ擔任職氏名ヲ朱記相成候様取計相成度此段及通牒候也

○學校々舎非常變災等ノ爲メ破壊ノ場合報告ノ件

(明治三十六年十月三十一日
内三第六四五二號内務部長通牒)

郡長

御所轄内公私立學校々舎非常變災等ノ爲メ破壊シタル場合ニ於テハ爾後其都度狀況ヲ詳細ニ取調直チニ報告可相成依命此段及通牒候也

○瀛車割引證請求ニ關スル件

(大正三年六月二十六日
牡學第九八四號通牒)

各小學校長

夏期冬期ノ休暇日ヲ利用シ汽車旅行ヲ爲サントスル小學校教員ニハ鐵道院ヨリ割引證ヲ交付セラルヘキ儀ニ候條希望ノ向ハ左記様式ノ請求書(夏期割引證六月末日限冬期割引證十二月五日限)期日ヲ愆ラス當衙へ提出相成度此段及通牒候也

記

割引證請求書

(白紙ニ認ムヘシ)

學 校 名	學 校 長 名	旅 行 職 員 數	割 引 證 請 求 數

備考

割引證ハ一人二枚ノ割合ヲ超過スルコトヲ得ス

○證書々式ニ關スル件

(明治三十八年三月二十日
牡學第四三四號通牒)

各小學校長

明治三十七年四月本縣訓令第二十七號第七條證書々式中生年月トアルモ生年月日ヲ記入

差支ナキ旨某郡ノ照會ニ對シ回答致置候旨今般其筋ヨリ通牒相成候條御了知相成度此段及移牒候也

○壯丁教育成績調査ニ關スル件

(明治三十九年六月二十九日)
(牡學第一三五三號通牒)

各町村長

今般壯丁教育成績調査執行ノ件訓令相成候處小學校外ノ學校教育ヲ受ケタルモノニ對シテハ右調査ヲ行ハサル筈ニ有之候條承知相成度此段及通牒候也
追テ本縣訓令第八號第七條第一號表第三欄記載ノモノニ對シテハ調査ヲ要シ候條承知相成度爲念申添候也

○火災豫防ニ關スル件

(明治四十年十一月二十六日)
(牡學第一三三三號通牒)

各小學校長

漸々寒候ニ向ヒ候ニ付室内ニ火鉢等ヲ設ケ置クノ必要有之候ニ付右期間中ハ特ニ嚴重ノ取締ヲナシ決シテ不都合無之様可被致尙左記事項ニ對シテハ篤ト注意相成度此段及通牒候也

記

- 一、消火用水ヲ常ニ備ヘ置ク可キコト
- 二、洋燈ハ可成金屬製ノモノヲ用フルコト
- 三、湯沸場ノ爐ノ周圍ハ可成石造又ハ土ニテ造ルコト
- 四、兒童退校ノ後火鉢ノ火ハヨク之ヲ消シテ火氣ナカラシムルコト
- 五、室内煖爐用火鉢ニハ高サ三寸以上ノ脚ヲ付シ其ノ下ニ水盥ヲ置クコト
- 六、甲教員ト乙教員トノ宿直交替時間ニ空虛ナカラシムルコト
- 七、夜間ハ一時ニ二回以上(可成頻リナルヲ要ス)舍ノ内外ヲ巡視スルコト

○參謀旅行演習ニ關スル件

(明治四十四年四月十六日)
教第二七五一號内務部長ヨリ通牒)

各郡市長

今回本縣管内ニ於テ參謀旅行演習執行ニ付
東宮殿下行啓ノ場合ニ於ケル敬禮法ニ付テハ四十三年八月二十六日文部省訓令第十八號
及同月三十一日教第六三五六號通牒並別記注意事項ニ依リ克ク生徒兒童ヲシテ其姿勢舉
動ヲ練習セシメ亂雜ニ陥ルカ如キコト無之様深ク注意スヘキハ勿論御通過地附近ノ學校
ニアリテハ清潔整理上遺憾ナカラシメ候様御示達相成度爲念此段及内牒候也

注 意 事 項

- 一、奉迎送又ハ拜觀等ノ場合ニハ別途定ムル所ノ事項ヲ遵守スヘキハ勿論服裝進退動作
等ニ注意シ敬意ヲ失ハサル様豫行練習ヲ爲サシメ置クヘシ
- 二、奉迎送又ハ拜觀ノ場所ニ參列スル兒童生徒ノ隊伍、編制、引卒方法、指導監督等ニ
付テハ遺憾ナキ様相當注意シ置クヘシ

- 三、奉迎送又ハ拜觀ノ場合ニ於ケル部隊ハ凡五六十名若クハ一學級ヲ以テ一部隊ヲ編制
シ其先頭ニハ附添教員ヲ配置シ指揮命令ノ傳達上支障ナカラシムヘシ
- 四、御通過附近ノ學校ニアリテハ校地ノ周圍校舍内外ノ清潔整頓ニ注意シ汚水路又ハ塵
埃捨場等ノ如キハ見苦シカラサル様取片付置クヘシ
- 五、生徒兒童ノ身体服裝ハ可成清潔整正ナラシメ苟モ不敬ニ涉ルカ如キコトナキ様豫メ
注意シ置クヘシ

○教育其他ニ關スル戰時ノ心得

(大正三年八月二十六日)
訓令 第六號

町 村 長

町村立學校長

今回詔書煥發ニ付官報號外文部省訓令第八號ヲ以テ青年子女ノ教養並ニ學生生徒ノ取締
其他學校職員應召者優遇等ニ關シ訓令セラレタリ職ニ教育ニ在ル者及學校管理者ハ深ク

此意ヲ体シ聊カ遺憾ナキヲ期スヘシ

(參照)

○ 大正三年八月二十二日
文部省訓令第八號

本日獨逸帝國ニ對シテ戰ヲ宣セラレタル趣旨ハ炳トシテ詔書ニ明ナリ今回ノ事タル其ノ關スル所極メテ大ニシテ國民ノ責任ニ將來一層ノ重キヲ加ヘントス事ニ教育ニ當ル者他年此ノ責任ヲ負擔スヘキ國民ハ即チ今日ノ青年子女ナルコトヲ思ヒ益々力ヲ教養ニ效シ以テ其ノ本文ヲ完ウセンコトヲ期スヘシ
國交既ニ絶エタリト雖其ノ臣民ニ對シテハ固ヨリ敵意アルヘキニアラス此ノ際學生生徒ヲシテ敵愾心ニ驅ラレテ交戰國民ニ對シ不穩當ノ言動ヲ敢テシ國民ノ品位ヲ傷クルカ如キコトナカラシムヘシ
學校職員ニシテ召集ニ應シタル者アルトキハ務メテ優遇ノ途ヲ講シ又出征及應召軍人ノ子女ニ對シテハ其ノ修學ノ便宜ヲ圖リ以テ忠勇ナル軍人ヲシテ後顧ノ憂ナカラシメンコトヲ期スヘシ

○學校基本財産設置ニ關スル件

(明治三十七年八月二十六日)
郡訓令第一二二號

各町村長

學校基本財産設置増殖ニ關シテハ從來屢之ヲ獎勵シ來リシガ今回ノ事變ニ際シ地方經費ノ緊縮ニ伴ヒ教育上ニ尠カラサル影響ヲ及スニ至リ益々其必要ヲ感スルコト大ナリ而シテ其財源涵養ノ一手段タル學校樹栽ノコトニ關シテハ本年八月文部省訓令第七號趣旨ノ次第モ有之職ニ町村ニ長タル者ハ宜シク地方ノ狀況ニ應シ既ニ樹栽ニ着手セルモノハ益々之ヲ増殖シ其ノ未タ着手セサルモノハ樹栽地ノ廣狹ニ拘ハラヌ樹數ノ多少ヲ問ハス速ニ之ヲ實施シ以テ其效果ヲ收メンコトヲ努ムヘシ

○教員住宅ニ關スル登録稅課否ノ件

(明治四十一年八月七日)
社學第一一四七號通牒

各町村長

小學校ノ教員住宅ニ關スル登録稅課否ノ件ニ付別記ノ通其筋申來候ニ付相添此段及移牒

候也

別記

小學校教員住宅ヲ學校敷地以外ニ設置センカ爲土地若クハ建物ヲ購入スル場合ニ於ケル
 所有權移轉ノ登記ハ明治二十九年法律第二十七號登録税法第十九條ノ所謂府縣郡市町村
 其他公共團體ニ於テ公用ニ供スル不動産ノ登記トシ登録税ヲ免除セラル、儀ニ候哉差懸
 リタル事情有之候條至急何分ノ義御指示相成度此段及照會候也
 小學校ノ教員住宅ニ關スル登録税課否ノ件ニ付御照會ノ趣了承右ハ御意見ノ通リト存候
 此段及回答候也

年 月 日

局 長

○御眞影並 勅語謄本奉置方

(明治二十五年三月三十一日
訓令 第十七號)

管内學校へ下賜セラレタル
天皇陛下

郡市役所
町村役場

皇后陛下ノ御影並ニ教育ニ關シ下シタマヒタル
最モ尊重ニ奉置セシムヘシ
勅語ノ謄本ハ校内一定ノ場所ヲ選ヒ

○御眞影 奉置取締方

(明治二十六年一月九日
訓令 第二號)

御眞影復寫奉掲ノ市町村立尋常小學校幼稚園廢止等ノ節ハ右

郡市役所
町村役場

御眞影ハ縣廳へ差出スヘシ

○御眞影 奉置方

(明治二十六年一月九日
訓令 第三號)

郡市役所
町村役場

御眞影復寫奉置方ハ明治二十五年(三月)本縣訓令第十七號ノ通心得ヘシ

○御影 奉置ニ關スル取締方法

(明治三十一年三月二十二日
訓令 第三十三號)

郡市役所
町村役場

第一條 御影ヲ奉置スル郡市町村立學校ニ於テハ職員ヲシテ宿直ヲナサシムハシ

特別ノ事情アリテ前項ニ依リ難キモノアルトキハ別ニ相當ノ取締方法ヲ設ケ事情ヲ具シテ郡市長ハ知事町村長ハ郡長ノ許可ヲ受クヘシ

第二條 御影奉置所ニハ窓戸ニ鎖鑰ヲ施シ取締ヲ嚴重ニスヘシ

第三條 天災事變等ニ對シ豫メ奉安ノ方法ヲ設ケ置クヘシ

○菊御紋章使用ニ關スル件

(明治三十三年八月三十一日
諭告 第九號)

菊御紋章ハ畏クモ 帝室ノ御紋章ニシテ申ス迄モナク臣民ノ私用スヘカラサルモノニ候處近時各般事業ノ勃興ニ伴ヒ各種ノ商品廣告看板又ハ私著ノ文書圖書ニ之ヲ私用スルモノ有之濫用ノ弊漸次著シキニ至ラントスルノ傾向ニシテ誠ニ恐多キ次第ニ候右禁制ノ義ニ付テハ明治元年三月同四年六月太政官布告ノ趣モ有之候條心得違ノ儀無之様注意スヘシ

(參照)

明治元年三月布告

禁裡御用或ハ禁裡御料又ハ禁裡御内杯ト會符榜示杭標等ニ書記シ候儀ハ有之間敷事ニ候處往々見受候ニ付以來屹度相改御用御料ト而已書記致候様被仰出候但シ標札ハ姓名相記シ又ハ官名役名等記シ候儀不苦候事

一、提燈又ハ陶器其外賣物等ニ御紋ヲ畫キ候事共如何之儀ニ候以來右之類御紋ヲ私ニ附シ候事屹度禁止旨被仰出候事、但御用ニ付是迄被免ノ分モ一應伺出可申事右ノ通被仰出候條末々迄不洩様可申達事

明治四年六月布告

菊御紋禁止之儀ハ兼而御布告有之候處猶又向後由緒ノ有無ニ不關皇族ノ外總テ被禁止候最モ御紋ニ紛敷品相用候儀モ同様不相成候條相改可申事

○菊御紋章ニ關スル件

(明治三十三年九月二十五日)
諭告 第十一號

菊御紋章ニ關シテハ本年八月三十一日諭告第九號ヲ以テ諭告シ置キタル次第モ有之候處尙大要左記標準ニ依リ心得違無之候注意スヘシ

一、印刷描出其ノ他方法ノ如何ニ拘ラス商品、商品容器、封皮、引札、廣告、看板、建築物ノ門扉、門頭又ハ其ノ他ノ物件ニ菊御紋章若クハ菊御紋章類似ノ圖形ヲ表出シ之ヲ發賣頒布シ又ハ之ヲ觀覽ノ用ニ供スルコトヲ得ス

二、帝室若クハ政府ノ授與ニ係ル賞牌、賞狀、免狀ノ類ヲ節略摸寫シテ菊御紋章ノ部分ヲ前項ノ物件ニ描出私用スルコトヲ得ス

三、私著ノ文書圖書ニ在テハ御陵圖、御系譜、御歷代ノ尊號ヲ掲クル場合ト雖モ菊御紋章若クハ菊御紋章類似ノ圖形ヲ之ニ表出スルコトヲ得ス

四、帝室若クハ政府ノ所有若クハ授與ニ係ル物件ノ形狀ヲ複寫、撮影、摸圖等ニ依リテ表出シタルモノハ前各項ノ限ニアラス

○小學校設置及設備規程

(明治三十三年十一月二十七日)
縣令第六十四號

第一條 郡長ニ於テハ小學校令第九條第十條及第十一條ニ依リ尋常小學校(分教場)ノ校數並ニ位置ニ關シ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ調書ヲ添ヘテ差出スヘシ但シ變更ノ場合ニ於テ曩ニ認可ヲ受ケタル事項ニ異ラサルモノハ其ノ旨ヲ記入シテ記載ヲ省クコトヲ得

一、通學(若ハ設置)ノ區域

何町村又ハ何町村字何々若ハ何組合

二、位 置

何町村字番地別紙圖面ノ通

三、人口戶數

人口何人内通學(若ハ設置)區域何町村何々何人戶數何戶内通學(若ハ設置)區域何町村何々何戶

四、學齡兒童調

別表ノ通

五、町村費

別紙ノ通(當年度ノ經常臨時豫算調書ヲ添フヘシ)

學校組合、區教育事務委託若ハ使用小學校指定ニ關シ認可ヲ受ケントスルトキモ亦前項ニ準シ各其ノ事由ヲ詳記スヘシ

第二條 市町村又ハ町村學校組合ニ於テハ前條手續ノ後其ノ設備前左ノ條項ヲ具シ伺出ツヘシ

一、名 稱

何々

二、入學兒童數(見込數ヲ記スヘシ但シ別表ヲ以テ表示スルモ妨ケナシ)

何町村何何何人	男	何
何町村何何何人	女	何
何町村何何何人	男	何
何町村何何何人	女	何

計 男何人 女何人

此學年別 何何
此學級 何學級

三、校地校舍体操場

別紙調書ノ通

四、校具及圖書類

成規ノ通又ハ何何

五、經費

別紙ノ通(市町村會ノ議決シタ
ル豫算表ヲ添フヘシ)

六、設備成功期限見込

何年 月 日

學校ノ名稱ヲ變更シ校地若ハ体操場ヲ増減セントスルトキハ其ノ都度事由ヲ具シ伺出
ツヘシ

校舎ノ新築増築改築ハ知事ニ(模様替ハ市ニ於テハ知事ニ町村ニ於テハ郡長ニ)第一
項ノ手續ニ準シ伺出ツヘシ但曩ニ認可ヲ受ケタル事項ニ異ナラサルモノハ其旨ヲ記入
シテ記載ヲ省クコトヲ得

第三條 尋常小學校設置ノ成功ハ知事ニ増築改築及模様替ノ成功ハ市ハ知事ニ町村ハ郡
長ニ出ツヘシ

前項設置ノ場合ニ於テハ郡長ハ本則ニ照シ主任者ヲシテ實地検査ヲナサシメ其成績ヲ
副申スヘシ

尋常小學校ノ設置ハ本條第一項届出ノ日ヲ以テ開校ノ日トス

第四條 高等小學校ヲ設置セントスルトキハ豫メ左ノ條項ヲ具シ伺出ツヘシ

一、名稱

何何

二、設置ノ區域

何町村又ハ何町村字何何若ハ何組合

三、位 置

何町村字何番地別紙圖面ノ通

四、修業年限

何箇年

五、入學兒童概數(別表ヲ以テ表示スルモ妨ケナシ)

何人 男何人 女何人

此學年別

何 何

此學級數

何學級

六、校地校舍体操場

別紙調書ノ通

七、校具及圖書類

成規ノ通又ハ何何

八、經 費

九、設備成功期限見込

何年 月 日

十、義務教育ノ狀況

別紙調書ノ通

前項第一號乃至第四號及第六號ノ變更ハ設置ノ例(其ニ認可ヲ受ケタル事項ニ異ナラサルモノ)ニ依リ其ノ事由ヲ具シ伺出ツヘシ但シ校舍ノ模様替ハ町村ニ在リテハ郡長ニ伺出ツヘシ

高等小學校ノ廢止ハ其ノ事由ヲ具シ伺出ツヘシ

第五條 本則第三條ハ高等小學校ニモ亦適用ス

小學校ニ附設スル補習科ニ就キテハ凡テ本則中高等小學校ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條 小學校ノ設備ハ小學校令施行規則第二章設備準則第六十四條乃至第七十五條第七十七條及第七十九條ニ據ルヘシ

附 則

第七條 本則附屬書類ノ様式左ノ如シ
學校位置圖(第一條第四條)

- 一、全市町村ノ略圖ヲ製シ各學校通學區域(字)人家ノ所在、山川等ノ位置其ノ他土地ノ高低、卑濕、埋地、砂地、岩石地等ノ區別ヲ明記スヘシ
- 二、從前設置ノ小學校(尋常高等小學校)及新設學校ノ位置其ノ他隣地ノ模樣(道總上、衛ル家屋、池沼等ノ類)ハ適宜符合ヲ以テ記入スヘシ
- 三、兒童通學最遠距離ハ各校毎ニ區別シ記入スヘシ

學齡兒童調(第一條)

何 何	字 名		男	女	計
	尋常小學校	尋常小學校			
	現	在	不	就	學
	者	者	免	除	小
			計		

計	何 何		何 何		女
	女	男	女	男	
女					
男					

備考

一、本表ハ其ノ市町村内現在(本籍ニシテ他ヘ寄留ノモノハ除ク)學齡兒童總數ノ四月(一月ヨリ三月ノ間ニ於テ出願ノトキハ前年其ノ他ハ其年ノ四月トシ成規ノ)督責事務終了ノ數ニ依ルヘシ)現在ニ付調査スヘシ

- 二、學齡兒童トハ前項調査ノ月ニ於テ滿六年一ヶ月ヨリ滿十三年十二月マテノ兒童ヲ云フ
 - 三、尋常小學校卒業退學者トハ學齡兒童ニシテ第一項調査ノ年ノ三月以前ニ尋常小學校ヲ卒業シタル者ヲ云フ故ニ尋常小學校補習科、高等小學校其ノ他ノ學校ニ入學シ居ルモノ又ハ學校ニ入ラサルモノト雖學齡内ノモノハ總テ記入スヘキモノトス
 - 四、尋常小學校現在者トハ學齡兒童ニシテ現ニ市町村内又ハ他市町村ノ尋常小學校ニ通學シ該校ノ學籍ニ在ルモノヲ云フ
他市町村ノ學校名ハ備考ニ列記スヘシ
 - 五、不就學者トハ學齡兒童ニシテ尋常小學校卒業退學者及尋常小學校現在者ニアラサル就學猶豫若ハ免除ノモノヲ云フ
- 校地校舍等ノ調書(第二條第四條)
- 一、校地校舍等別紙圖面ノ通

- (イ) 敷地建物全体ノ平面圖 方位及縮圖何百分
ノ一ヲ附記スヘシ 敷地ノ土地ノ高低、体操場等ノ區別、
建物ハ各室ノ使用目的、窓、入口ノ位置ニ階建ノ校舍ハ階段ノ位置、便所ノ
數等ヲ見得ヘキモノ
 - (ロ) 其ノ他地番、地目、段別、公私有區別、建物坪數等ヲ適宜記入スヘシ
斷面圖 縮圖ノ割合ヲ
附記スヘシ 教室等ノ床ノ高、天井ノ高、建物ノ木組等ヲ知リ得ヘキモノ
- 二、建築費概算
- 總金額及概略ノ内譯ヲ記載スヘシ
- 義務教育調書
- 第一條學齡兒童調ヲ調製シ就學ノ狀況ヲ明ニシ且既設學校ノ校地校舍等ノ調書ヲ製
シ設備ノ情況ヲ各校別ニ記載スヘシ

○有租地ヲ公立學校地トナシタルトキ稅務署ヘ通知方

郡市役所

(明治三十二年九月二十日)
(訓第百三十三號)

有租地ヲ公立學校地トナシタルトキハ其ノ都度該郡市町村字地番地目反別及認可又ハ處分ノ年月日等ヲ記シ圖面ヲ添へ所轄稅務署へ通知スヘシ
前項校地ニ變更ヲ生シタルトキ亦同シ
右訓令ス

○市町村立小學校教員住宅費補助規程

(明治四十一年二月二十一日)
(縣令第九號)

第一條 市町村町村學校組合ニ於テ小學校教員住宅ヲ建築スルトキハ必要ニ依リ其ノ費用ヲ補助ス

第二條 教員住宅ハ校地内若ハ其ノ附近ニ設クルヲ常例トス

教員住宅ニハ土地ノ狀況ニ應シ成ルヘク相當ノ菜園ヲ設ケ在住ノ教員ニ無償使用セシ

ムヘシ

第三條 補助ノ歩合ハ僻陬地ト認メタルモノニアリテハ建築費決算額ノ二分ノ一其ノ他ノモノニアリテハ其ノ三分ノ一トス但シ災害等特別ノ事情アル場合ハ補助歩合ヲ増加スルコトアルヘシ

前項ニ依リ算出シタル補助金額ニ圓位未滿ノ端數ヲ生スルトキハ之ヲ圓位ニ止ムヘシ
第四條 市町村、町村學校組合ニ於テ教員住宅費ノ補助ヲ受ケントスルトキハ建築スヘキ年ノ五月末日マテニ第一號書式ニ依リ知事ニ申請スヘシ

第五條 補助金ハ竣工シタルトキ金額ヲ交付ス但シ補助金ニ相當スル金額ノ半額マテハ請求ニ依リ起工ノ際前渡ヲ爲スコトアルヘシ

前項ニ依リ交付ヲ受ケントスルトキハ前渡ノ場合ヲ除キ出來形精算書ノ寫ヲ添へ第二號書式ニ依リ知事ニ請求スヘシ

第六條 補助ヲ受ケタル教員住宅ノ建築設計ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

前項認可ヲ受ケスシテ設計ヲ變更シ若ハ工事施行上不都合アリト認メタルトキハ補助額ヲ減少シ又ハ既ニ交付シタル補助金ノ一部若ハ全部ヲ返還セシムルコトアルヘシ

第七條 補助ヲ受ケタル教員住宅ハ住宅料ヲ徵收スルコトヲ得ス

第八條 補助ヲ受ケタル教員住宅ヲ廢止シ又ハ其ノ建物ヲ處分セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第九條 町村、町村學校組合ニ於テ第四條乃至第八條ニ依リ知事ニ差出スヘキ書類ハ郡長ヲ經由スヘシ

前項書類ハ郡長ニ於テ之ニ意見ヲ付シ進達スヘシ

附 則

本規程ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(第一號書式)

小學校教員住宅建築費補助申請書

一、學 校 名 何何小學校若ハ何何小學校何何分教場

二、住宅ノ位置 校地内又ハ學校ヲ距ル何丁字何何番地内

三、住宅設計書及圖面 別紙ノ通

四、市町村(町村學校組合)費現年度歲入歲出豫算表 別紙ノ通

五、起工及竣工期日 起工何年何月何日
竣工何年何月何日

右住宅建築致シ候ニ付市町村立小學校教員住宅費、補助規程第三條ニ依リ建築費決算額ノ何分ノ一御補助相成度此段申請候也

年 月 日

市(町村)長

町村學校組合管理者

印 印

備 考 知 事 宛

一、設計書ハ其ノ内容、地形、木材、鐵具、屋根、壁、建具、職工、人足、雜費等ノ部分ニ分チ尙本屋ト接續建物トニ之ヲ區別スヘシ

一、圖面ハ縮尺百分ノ一トス出入口、壁、建具、玄關、座敷、床、押入、勝手、縁側
 疊敷、土間、方位等ヲ見得ヘキ平面圖タルヘシ但シ校地内ニ建築スルモノニ在リ
 テハ校地校舍ノ全体ト住宅トノ關係ヲ見得ヘキ平面圖校地外ニ建築スルモノニア
 リテハ附近ノ狀況ヲ見得ヘキ圖面ヲ添付スヘシ

一、市町村(町村學校組合)費歳入歳出豫算表ハ市町村會ノ決議ヲ經タルモノノ寫ヲ添
 フヘシ但シ追加豫算等ニ依リ住宅建築ノ豫算ヲ定メタルトキハ其ノ豫算書ノ寫ヲ
 モ添付スヘシ

(第二號書式)

請 求 書

建築費精算高(豫算高)金何圓

一金何圓

補助金額(概算渡又ハ精算請求高)

(外金何圓

何年何月何日前渡受領高)

但シ明治何年何月何日付致第何號御指令何々小學校(何々小學校何々分教場)教員住宅

建築費補助金

右明治何年何月何日竣工(起工)候ニ付御交付相成度出來形精算書寫相添ヘ此段請求候也
 年 月 日

市(町村)長

町村學校組合管理者

印 印

備 考 知 事 宛

一、補助金前渡ヲ請求スル場合ハ出來形精算書寫相添ヘノ十字ヲ削除スヘシ

○教員資金使用ニ關スル規則

(明治三十三年六月十二日
 縣令第三十六號)

第一條 教育基金令第五條ニ依リ市町村立尋常小學校設備費ヲ貸付クル順次ハ校地校舍
 不完全ニシテ新築改築増築等ノ最急ト認ムルモノヲ先ニシ之ニ次クモノヲ後ニス但シ

災害ニ罹リ復舊ヲ要スルモノハ此ノ限ニアラス

第二條 前條順位ノモノト雖左ノ各號ノ一ニ該當スルトキニハ設備費ノ貸付ヲ許可セス

一、市町村ノ資力學校設備ノ費用ヲ支出スルニ堪フルモノト認ムルトキ

二、普通教育ニ屬スル經常費豫算額其ノ市町村ノ經常費豫算額ノ二分ノ一以内ナルト

キ

第三條 尋常高等小學校ノ設備費ニ就テハ其ノ總費額ノ五分ノ三ヲ以テ尋常小學校ノ分

トシ之ニ對シ其貸付金額ヲ定ム

第四條 區ノ負擔ニ屬スル尋常小學校設備費ノ貸付ニ就テハ其ノ市町村ヨリ申請スルモ

ノトス此ノ場合ニ於テハ總テ該市町村全部ノ經費ヲ通算シテ其ノ貸否ヲ定ム

町村組合及町村學校組合ニ屬スル尋常小學校設備費ノ貸付ニ就テハ總テ該組合全部ノ

經費ヲ通算シテ其貸否ヲ定ム

第五條 貸付金額ハ五十圓ヲ以テ單位トシ端數ハ總テ切捨ツルモノトス

第六條 貸付ノ利子ハ一個年度ヲ二期ニ分チ九月及三月ノ末日前之ヲ徵收ス但シ元利金

ヲ合セ償還セシムルモノハ此限ニアラス利子ハ貸付金交付ノ翌月ヨリ返納ノ月マテ月割ヲ以テ計算ス

第七條 設備費ノ貸付ヲ申請スルモノアルトキハ郡長ハ之ニ意見ヲ附シ進達スヘシ

一、郡内ヨリ二校以上設備費ノ貸付ヲ申請スルトキハ郡長ハ第一條ニ依リ其ノ順次ニ

關スル意見ヲ添申スヘシ

第八條 設備費貸付申請書ハ左ノ書式ニ依ルヘシ

尋常小學校設備費貸付申請書

一、設備ヲ要スル學校 何々學校

二、設備ヲ要スル目的 校地若クハ校舍

三、設計書及圖面(校地ニハ設計書ヲ要セス)

四、成功期限

五、設備費ニ關スル歲入出豫算

(別紙ノ通)
何年月日

總計

備考 別棟毎ニ地形、木材、鐵具、屋根、壁、建具、職工、人足、監督、雜費等

ノ部分ニ分チ各部毎ニ計ヲ附シ最後ニ總計ヲ附スヘシ

二、圖面ハ明治三十二年縣令第四十七號小學校設備規則第七條校地校舍等ノ調書ニ依ルヘシ

三、設備費ニ關スル歲入出豫算ハ市町村歲入出豫算調製ノ式ニ依リ市町村會ノ決議ヲ經タルモノ、寫ヲ添フヘシ

四、償還方法ハ教育基金令第六條ノ旨ニ依リ償還スヘキ年割金額及各年月日ヲ列記スヘシ但シ元利金ヲ同時ニ償還スルモノト雖其ノ利金ハ各元金ト別記スヘシ

五、市町村費ノ決算及豫算ハ市町村制ニ依リ市町村會ノ認定及決議ヲ經タルモノ、寫ヲ各別ニ添フヘシ

六、申請事由ハ第一條及第二條ノ趣旨ニ依リ貸付ヲ必要トスル實際ノ事情ヲ明記ス

ヘシ

第十條 貸付ノ許可ヲ受ケタルトキハ十日以内ニ借用證書ヲ差出スヘシ(町村ハ郡長ヲ經テ)
借用證書ヲ差出シタル上ニアラサレハ貸付金ヲ交付セス
借用證書ハ左ノ書式ニ依ルヘシ

借用證書

一金何圓

右ハ明治三十三年六月縣令第三十六號教育資金使用ニ關スル規則ニ依リ何々尋常小學校(何々尋常高等)小學校)設備費ノ内へ御貸付相成現金正ニ受領仕候償還ハ 年 月 日貸付申請書ニ添ヘタル償還方法書ノ通實行可仕候仍テ本市(町)(村)會ノ議決ヲ經テ本書差出候也

(市參事會)

市(町)(村)長 氏

名 印

年 月 日

知 事 宛

附 則

第十一條 災害等已ムヲ得サル事實アル市町村ニ限リ當分ノ内本則第二條第二號該市町村經常費豫算總額ニ對スル普通教育經常費豫算額ヲ其ノ三分ノ一迄斟酌スルコトアルヘシ

○實業補習學校教員俸給補助規程

(明治四十四年八月十五日)
縣令第十八號

第一條 市町村ノ設立ニ係ル實業補習學校ニシテ左ノ各號ニ該當シ獎勵上必要アリト認ムルトキハ縣ハ毎年豫算ヲ以テ定ムル金額ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス

一、修業期間二箇年以上ニシテ通年教授ヲ爲スモノ

二、縣ニ於テ實業補習學校教員トシテ養成シタル者若クハ明治四十年九月文部省令第二十八號實業學校教員資格ニ關スル規程ニ該當スル者ノ中ニ就キ知事ニ於テ指定シタル教員ヲ任用シタルモノ

第二條 補助額ハ前條ニ依ル教員俸給額ノ三分ノ一以内トス

二校以上ノ教員ヲ兼ネ俸給ヲ分割支給スル場合ニアリテハ其支給額ニ依リテ補助金ヲ算定ス前二項ニ依リ算出シタル補助金ニ錢位未滿ノ端數ヲ生スルトキハ之ヲ錢位ニ止ム

第三條 本令ニ依リ補助ヲ受ケントスルトキハ第一號書式ニ依リ毎年四月十日迄ニ知事ニ申請スヘシ

第四條 市町村長ハ俸給支拂額ニ基キテ補助金額ヲ計算シ第二號書式ノ請求書ヲ翌年三月三十一日マテニ知事ニ差出スヘシ

第五條 前二條ニ依リ市町村長(組合管理者)ヨリ知事ニ提出スヘキ書類ハ郡長ヲ經由スヘシ

郡長ニ於テ前項ノ書類ヲ受理シタルトキハ審査ノ上意見ヲ付シテ進達スヘシ

第六條 補助ヲ受ケタル學校ニシテ成績佳良ナラサルトキ又ハ交付ヲ要セスト認メタルトキハ其補助ヲ取消シ又ハ減額スルコトアルヘシ

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス
明治四十四年度ヨリ補助ヲ受ケントスルモノハ市町村長ニ於テ本令發布後二十日以内ニ
知事ニ申請スヘシ

第一號書式

實業補習學校教員俸給縣費補助申請書

本市(町村)立何々實業補習學校在勤左記教員俸給支拂額ニ對シ其何分ノ一ヲ明治何年度
ニ於テ縣費ヨリ御補助相成度市(町村)會ノ決議ヲ經此段申請候也

年 月 日

市(町村)長(何々組合
管理者) 氏

名 印

知 事 宛

左 記

一、教員ノ氏名 擔任教科及每週教授時間數

第二號書式

請 求 書

一金

但何年何月ヨリ何年何月ニ至ル何々實業補習學校教員俸給支拂額何圓何拾錢ニ對ス
ル何分ノ一

内 譯

右請求候也

支拂年月日	支 給 月 月	俸 額	同上支拂額	備 考
何年何月何日	何年何月分	何 圓	何圓何拾錢	
計				

年月日

市(町村)長(何々組合管理者) 氏
知事 宛

名 印

○公立學校職員職制

(明治四十二年七月十三日
縣令第二十八號)

- 第一條 公立學校職員ノ職制ニ關シテハ他ニ規定アルモノヲ除ク外此ノ規程ニ依ルヘシ
- 第二條 學校長ハ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ統督シ生徒教育ノ責ニ任ス
- 第三條 教諭ハ學校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ教育ヲ掌リ兼テ校務ヲ分掌ス
- 第四條 助教諭ハ學校長ノ命ヲ承ケ教諭ノ職掌ヲ助ク
- 第五條 舍監ハ學校長ノ命ヲ承ケ寄宿舍ニ關スル事務ヲ掌ル
- 第六條 書記ハ學校長ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○公立圖書館職員職制

(明治四十二年七月十三日
縣令第二十九號)

- 第一條 館長ハ館務ヲ掌理シ所屬職員ヲ統督ス
- 第二條 司書ハ館長ノ命ヲ承ケ圖書記録ノ整理保存及閱覽ニ關スル事務ニ從事シ兼テ館務ヲ分掌ス
- 第三條 書記ハ館長ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○小學校ノ學期毎日ノ教授始終ノ時限休業日數
及休業日ニ關スル細則

(明治三十七年三月一日
縣令第四號)

- 第一條 小學校令施行細則第二十五條ノ學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期 四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第二學期 九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル

第三學期 一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第二條 小學校令施行規則第二十六條毎日ノ教授始終ノ時限左ノ如シ但シ學校ノ必要ニ依リテ之ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ市ニ於テハ市長郡ニ於テハ町村長ヲ經テ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

月	日	始業時	終業時
四月	一日ヨリ五月三十一日ニ至ル	午前九時	午後三時
六月	一日ヨリ九月三十日ニ至ル	午前八時	午後二時
十月	一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル	午前九時	午後三時

第三條 小學校令施行規則第二十七條第三號乃至第六號ノ休業日數ニ關シテハ總日數六

十日以内ニ於テ土地ノ狀況ニ應シ學校長之ヲ定メ左ノ例ニ依リ市ニ於テハ市長郡ニ於テハ町村長ヲ經テ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

- 一、夏期休業日 何月何日ヨリ何月何日ニ至ル何日間
- 二、冬期休業日 同上
- 三、學年末休業日 同上
- 四、農繁休業日 同上
- 五、鎮守祭日 同上
- 六、其他ノ休業日 同上

計 何日間

第一項ノ休業日ヲ變更シ又ハ總日數ヲ増加セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ第一項ト同一ノ手續ニ依リ認可ヲ受クヘシ
前項後段ノ總日數(日曜日ヲ除キ)九十日以上ニ涉ルトキハ郡長ハ知事ノ指揮ヲ受ケテ之ヲ處理スヘシ

郡長ニ於テ前各項ノ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ都度知事ニ報告スヘシ

附 則

第四條 本令ハ明治三十七年四月一日ヨリ施行ス

第五條 明治三十四年縣令第三號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

○公立學校運動會等取締ノ件

(明治三十六年十月二日
訓令第五十號)

公立學校

學校ニ於テ運動會又ハ遠足運動等舉行ノ際ハ体育及訓育ノ目的ニ背反セサル様留意スヘキハ勿論苟クモ華奢ニ流レ異裝ヲナス等其ノ本分ヲ失フカ如キコト之ナキ様嚴重ニ注意ヲ加フヘシ

○教科目ノ定メ方等ニ關スル手續

(明治三十七年三月一日
訓令第十九號)

市 町 村 長

町村學校組合管理者

第一條 市町村長(町村學校組合管理者ヲ含ム以下同シ)ニ於テ小學校令第二十三條ニ依リ知事ノ認可ヲ受ケ同令第二十條第三項ノ教科目ヲ定メントスルトキハ左記各號ノ事項ヲ具スヘシ但町村長ハ郡長ヲ經由スルヲ要ス

一、學校名

二、加設スヘキ教科目

三、二科目以上ヲ加フル場合ハ其ノ各科目ヲ記スヘシ

四、必須科又ハ隨意科ノ別

隨意科ト爲サントスルトキハ其ノ事由詳記ヲ要ス

四、學習セシムヘキ兒童數

各學年ニ分チ記スヘシ又二科目以上加設ノ場合ニハ各科目別ニ其ノ兒童數ヲ記スヘシ

五、學習セシムヘキ概目

六、實驗又ハ實習ニ供スル土地建物及ヒ其他之ニ要スル設備ノ概要
同時ニ二校以上ノ認可ヲ申請スルトキハ前項各號ノ事項ハ各學校毎ニ區分スヘシ

第二條 前條第一項第二號第三號ノ變更ハ其都度知事ノ認可ヲ受ケ第五號ノ變更ハ其都度知事ニ開申スヘシ

○小學校令及同令施行規則改正ニ關スル實施要項

(明治四十一年二月七日
訓令甲 第二號)

- 師 範 學 校
- 郡 市 役 所
- 町 村 役 場
- 市 町 村 立 小 學 校

明治四十年勅令第五十二號及同年文部省令第六號ヲ以テ小學校令並ニ同令施行規則ノ一部ヲ改正セラレタルニ依リ其ノ實施ニ關スル要項ヲ別記ノ通定メ候條該要項ニ準據シテ之ヲ實施シ遺算ナカランコトヲ期スヘシ

小學校令及同令施行規則改正ニ關スル實施要項

- 第一條 現在ノ尋常小學校ハ明治四十一年四月一日ヨリ左ノ各號ニ依ルヘシ
 - 一、現在ノ尋常小學校ハ當然改正小學校令ニ依ル尋常小學校トナルモノトス
 - 二、現在ノ尋常小學校ニ於テハ明治四十一年四月一日ヨリ第五學年ノ兒童ヲ收容シ明治四十二年四月一日ヨリ第六學年ノ兒童ヲ收容スヘシ但シ事情ニ依リ明治四十一年四月一日ヨリ第六學年ノ兒童ヲ收容スルコトヲ得
 - 三、前號本文ニ依ル能ハサル事情アルモノハ第五學年ニアリテハ明治四十二年三月三十一日マテ第六學年ニアリテハ明治四十三年三月三十一日マテ同一市町村内ノ他ノ尋常小學校(尋常高等小學校ノ尋常小學校亦同シ)收容スルコトヲ得
- 四、第二號但書ニ依ラントスルトキハ管理者ニ於テ第二號但書ノ場合ハ其ノ事由ヲ第

三號ノ場合ハ其ノ事由學年並ニ相互ノ學校名及期間ヲ具シ其ノ施行前知事ニ開申スヘシ

五、從前ノ規程ニ依リ加設ノ認可ヲ受ケタル教科目ノ中圖書ハ第一學年ヨリ加設スルモノト看做シ手工ハ引續キ加設ノ効力ヲ有シ尙其ノ効力ハ第五學年及第六學年ノ兒童ニ之ヲ及ホスモノトス

第二條 現在ノ尋常高等小學校ハ明治四十一年四月一日ヨリ左ノ各號ニ依ルヘシ

一、現在ノ尋常高等小學校ハ高等小學校ノ修業年限如何ニ拘ハラス改正小學校令ニ依ル高等小學校修業年限二箇年ノ尋常高等小學校トナルモノトス

二、現在ノ尋常高等小學校ニ於テハ從前ノ規程ニ依ル高等小學校第一學年第二學年ヲ改正小學校令ニ依ル尋常第五學年第六學年トナスヘシ

三、現在高等小學校ノ修業年限四箇年ノ尋常高等小學校ノ高等小學校第三學年第四學年ハ改正小學校令ニ依ル高等小學校第一學年第二學年トナスヘシ

四、現在高等小學校ノ修業年限三箇年ノ尋常高等小學校ノ高等第三學年ハ改正小學校

令ニ依ル高等小學校第一學年トナシ明治四十二年四月一日ヨリ第二學年ノ兒童ヲ收容スヘシ但シ事情ニ依リ明治四十一年四月一日ヨリ高等小學校第二學年ノ兒童ヲ收容スルコトヲ得

五、現在高等小學校ノ修業年限二箇年ノ尋常高等小學校ニ於テハ明治四十二年四月一日ヨリ高等小學校第一學年ノ兒童ヲ收容シ明治四十三年四月一日ヨリ同第二學年ノ兒童ヲ收容スヘシ但シ事情ニ依リ明治四十二年四月一日ヨリ高等小學校第二學年ノ兒童ヲモ收容スルコトヲ得尙明治四十一年四月一日ヨリ高等小學校第一學年若ハ第一學年及第二學年ノ兒童ヲ收容スルコトヲ得

六、第四號但書若ハ第五號但書ニ依ラントスル場合ハ管理者ニ於テ其ノ事由學年ヲ具シ其ノ施行前知事ニ開申スヘシ

七、第四號ノ本文後段若ハ第五號ノ本文ニ依ル期限ニ收容スヘキ兒童ヲ收容シ能ハサル事情アルトキハ期間ヲ定メ同一市町村若ハ他市町村内ノ高等小學校（尋常高等小學校ノ高等小學校ヲ含ム）ニ其ノ兒童ヲ收容スルコトヲ得此場合ニ於テハ管理

者ハ其ノ事由學年並ニ相互ノ學校名及期間ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ但シ他市町村内ノ高等小學校ニ收容スルモノニアリテハ關係市町村長ノ承諾書ヲ添付スヘシ

八、從前ノ規程ニ依リ加設ノ認可ヲ受ケタル教科目ノ中尋常小學校及高等小學校第一學年第二學年ノ手工及尋常小學校ノ圖書ハ第一條第五號ヲ適用シ高等小學校ノ英語ハ改正小學校令ノ高等小學校ノ各學年ニ通シ引續キ其ノ効力ヲ有スルモノト看做ス

九、改正小學校令ニ依ル高等小學校ノ教科目ニ加フヘキ手工、農業、商業ニ關シテハ左ノ各項ニ依ルモノトス

(一)從前ノ規程ニ依リ修業年限四箇年ノ高等小學校ニ於テ第三學年第四學年男兒ノ爲ニ定メタルモノハ總テ改正小學校令ノ高等小學校各學年ノ男兒女兒ニ通シテ之ヲ課スルモノト看做ス但シ手工ト農業若ハ手工ト商業ノ二教科目ニ定メタルモノニアリテハ兩科ヲ全部ノ兒童ニ併課シ手工、農業、商業ノ三教科目ニ定メ

タルモノニアリテハ一部ノ兒童ニ手工ト農業殘部ノ兒童ニ手工ト商業ヲ併課シ農業商業ノ二教科目ニ定メタルモノニアリテハ一部ノ兒童ニ農業殘部ノ兒童ニ商業ヲ課スルモノトス

(二)從前ノ規程ニ依ル修業年限三箇年ノ高等小學校ニ於テ第三學年男兒ノ爲ニ定メタルモノハ改正小學校令ノ高等小學校各學年ニ通シ總テ前項ヲ適用ス

第三條

現在ノ高等小學校ハ明治四十一年四月一日ヨリ左ノ各號ニ依ルヘシ

一、現在ノ高等小學校ハ總テ改正小學校令ニ依ル修業年限二箇年ノ高等小學校トナルモノトス

二、從前ノ規程ニ依ル第三學年第四學年ヲ改正小學校令ニ依ル第一學年第二學年トシ從前ノ規程ニ依ル第二學年ハ明治四十二年三月三十一日マテ之ヲ存續シ舊令ノ第二學年ト稱スヘシ但シ從前ノ規程ニ依ル第二學年兒童ノ全部ヲ他ノ尋常小學校(尋常高等小學校ノ尋常小學校ヲ含ム)第六學年ニ轉入スルトキハ之ヲ存續セサルコトヲ得

三、第二號ニ依リ存續スル從前ノ規程ニ依ル第二學年兒童ニ授與スル修業證書若ハ學習證書ニハ左ノ裏書ヲ爲スヘシ

本證書ハ明治四十年勅令第五十二號附則末項ニ依リ之ヲ授與ス

四、第二號但書ニ依ラントスルトキハ管理者ニ於テ其ノ事由及轉入學校名ヲ具シ其ノ施行前知事ニ開申スヘシ

五、從前ノ規程ニ依リ加設ノ認可ヲ受ケタル手工及英語ハ第二條第八號ヲ準用ス

六、從前ノ規程ニ依リ定メタル第三學年第四學年ノ農業商業手工ノ教科目ニ關シテハ

第二條第九號ヲ適用ス

第四條 從前ノ規程ニ依リ認可ヲ受ケタル尋常小學校補習科及高等小學校補習科ハ明治四十一年四月一日ヨリ左ノ各號ニ依ルヘシ

一、從前ノ規程ニ依リ認可ヲ受ケタル尋常小學校補習科並ニ高等小學校補習科ハ引續キ其ノ効力ヲ有スルモノト看做ス

二、第一號補習科ノ教科目、教授日、教授時間每週教授時數教授ノ季節ハ成ルヘク兒童

學習上ノ便宜ヲ計リ管理者ニ於テ之ヲ定メ明治四十一年三月三十一日マテニ知事ノ認可ヲ請クヘシ

第五條 明治四十四年三月三十一日マテ尋常小學校ノ教科ヲ卒業セシモノハ成ルヘク獎勵ヲ加ヘ尋常小學校第五學年第六學年及高等小學校若ハ補習科ニ入學セシムヘシ

第六條 從前ノ規程ニ依リ認可ヲ受ケタル小學校授業料ノ金額ヲ改正小學校令ニ依ル高等小學校(單立ノ高等小學校ニ於ケル從前ノ規程ニ依リ存續スル第二學年ヲモ含ム)ニ於テ引續キ其ノ効力ヲ有スルモノト看做ス

第七條 前各號ニ據ルヲ得サル特別ノ事情アルモノハ管理者ニ於テ其ノ事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第八條 前各條中知事ニ開申シ若ハ知事ノ認可ヲ受クルヲ要スルモノノ中町村立小學校ニ關スルモノニアリテハ郡長ヲ經由スヘシ
郡長ハ前項ノ申請ニ對シテハ意見ヲ附シテ進達スヘシ

○俗語俗字ノ使ヒ方ニ關スル件

(明治三十五年二月十四日)
訓令第五號

郡市役所
縣立學校
公立小學校

是迄ノ教育ニ於テ文字文章等ヲ主トセサル學科ノ教授上不必要ナル文字文章ノ爲ニ生徒ヲ苦メ且時間ヲ空ウセルコト少ナカラス殊ニ實業ニ關ハル學科ノ教授ニ此ノ類ノコト多シ依リテ各學校ニ於テハ成ルヘク別紙ノ箇條ニ注意シ教育ノ効力ヲ増サレンコトヲ望ム右郡市長ハ郡市立若ハ私立學校ヘモ便宜勸告スヘシ

俗語俗字ノ使ヒ方ノ事

- 一、左ノ場合ニハナルヘク俗語、俗字ヲ使フコト。
 - (一)教師ノ講釋、說キ明カシ、問ヒ、答ヘ、話シ、黑板等ニ書ク文字、ソノ外ノ授業。
 - (二)生徒ノ講釋、說キ明カシ、問ヒ、答ヘ、話シ、手帖等ニ書ク文字。
- 二、書ク場合ノ文句ハ、ナルヘク言文一致体トスルコト。但シ文法ナトハ、アマリヤカ

マシク言ハス、わかるヲ第一トスルコト。

- 三、試験ノ問題、答ヘモ、ナルヘク俗語、俗字及言文一致体ニスルコト。
- 四、専門ノ學科ニオイテ、外國語ヲ譯スルニモ、マタナルヘク俗語、俗字ヲ使フコト、シ、モシ止ムヲエヌトキハ、原語ヲソノマ、使フコト。
- 五、教科書ノ圖書モ、規則アルモノ、外ハ、ダンダンニ右ノ主意ニ叶フモノヲ選フコト。
- 六、學校ニテハ、ソノ校ノ實業ナトニカ、ハル學科ニ使フ術語ノ内、ソノ處ニ行ハレル俗語、俗字ハ、ナルヘク取調ヘナイテ、受持教師ニ心得サセルコト。
- 七、俗語、俗字ノ使ヒ方ノ心得、凡ソ左ノ如シ
 - (一)一字テスムモノヲ、二字以上ノ熟語トスルナ。
 - (二)安い字ト六かしい字トアラハ、安い字ヲ使ヘ。
 - (三)ナルタケ漢語ヤ漢字ヲ使ハス、又文章ラシイ句調トスルナ。
 - (四)わかるカキリハ、訓テ讀ミ、音テ讀ムナ
 - (五)術語ナトニ、俗語ノナイト思フモノモ、尙ソノ職業ヲシテ居ル者ニツイテ聞ケ。

○小學校唱歌用ニ供スル歌詞及樂譜採用方ニ關スル件

(明治三十四年三月一日
訓令第五號)

宮城縣師範學校
公立小學校

- 一、小學校ニ於テ唱歌用ニ供スル歌詞及樂譜ハ文部大臣ノ檢定ヲ經タル小學校教科用圖書中ニ在ルモノ又ハ文部省ノ選定ニ係ルモノ及特ニ文部大臣ノ認可ヲ受ケタルモノ、外ハ採用スヘカラス
- 一、小學校ニ於テ唱歌用ニ供スル歌詞及樂譜ニシテ特ニ文部大臣ノ認可ヲ受ケントスルモノハ該圖書ノ名稱、冊數、著譯者ノ族籍、氏名、發行者ノ族籍、氏名、發行年月日、定價等ヲ具シ知事ニ上申スヘシ

○學校生徒喫煙取締ノ件

(明治三十三年四月五日
訓令第三十五號)

郡市役所
町村役場
公立學校

學校生徒ノ喫煙ハ衛生上有害ナルノミナラス風紀ニ關スルコト少ナカラス殊ニ今般未成年者喫煙禁止法ノ發布アリタルニ就テハ小學校中學校師範學校及等位ノ之ニ準スヘキ學校ニ在リテハ取締上其ノ生徒ノ成年以下ナルト以上ナルト學校ノ内外トヲ問ハス喫煙シ及煙草煙器ヲ夾帶スルコトヲ禁止スヘシ其ノ他ノ學校ニ在リテモ特ニ注意ヲ加ヘ法律違反ノ者ナカラシムコトヲ期スヘシ

○學齡兒童就學ニ關スル細則

(明治三十三年十一月二十四日
縣令第六十二號)

- 第一條 小學校令施行規則第八十條學齡兒童ノ調査ハ左ノ手續ニ依ルヘシ
- 一、現在學齡簿中小學校令施行規則第八十一條ノ加除ニ遺漏ナキカ否及就學義務ヲ卒

リタル兒童ニシテ他市町村ヨリ來住シタルモノヲ調フルコト

二、翌年四月就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ヲ調フルコト

三、第一號及第二號ノ調査ハ實地ニ就キテ(公簿及届出等ニ依リテ明カナルモノハ之ヲ畧スルヲ妨ケス)取調ヘ又他市町村ト照會ヲ要スルモノハ遲滯ナク往復シテ誤謬遺漏ナカラシメ期限内(十二月末日マテ)ニ編製ヲ終ルヘキコト

第二條 學齡簿ノ編製ハ左ノ手續ニ依ルヘシ

- 一、男女ヲ區分シ年次(生年)毎ニ登録スヘシ但シ區若ハ字等ニ細別スルヲ妨ケス
- 二、抹消若ハ加除訂正ハ便宜ノ場所ニ年月日及其ノ事由ヲ記入シ主住者捺印スルヲ常例トス
- 三、毎年四月ニ於テ其ノ年三月マテニ學齡ヲ終リタル兒童ノ年次分ヲ除キ別冊トシテ保存スヘシ

第三條 小學校令施行規則第八十二條及第八十三條ノ通知並ニ小學校令第三十三條ノ猶豫免除ハ左ノ期限内ニ終ルヲ要ス

- 一、小學校令施行規則第八十條ノ兒童及小學校令第三十三條猶豫若ハ免除ノモノニシテ更ニ入學セシメ得ヘキ兒童ノ通知ハ三月十五日マテ
 - 二、小學校令施行規則第八十一條第一項ノ兒童ニシテ入學セシムヘキモノノ通知ハ三月三十一日マテ
 - 三、小學校令第三十三條猶豫若ハ免除ノ處分(學年中途ニ於テスヘキモノハ除ク)三月三十一日マテ
 - 四、小學校令施行規則第八十三條ニ依リ本條第一號ニ掲ケタルモノノ通知ハ三月十五日マテ同第二號ニ掲ケタルモノノ通知ハ三月三十一日マテ
 - 五、以上ノ外ノ通知及猶豫若ハ免除ノ處分ハ其ノ時時
- 第四條 小學校令施行規則第八十二條及第八十三條ノ通知ハ各第一號ノ書式ニ依ルヘシ
- 第五條 小學校令施行規則第八十九條ノ學籍簿ハ男女ヲ區分シ成ルヘク生年月順ニ依リテ編製シ且市町村ノ兒童ニ係ル分ハ別冊ニナスヘシ但シ年次等ニ依リ細則スルヲ妨ケス
- 第二條第二號ハ學籍簿ノ調理ニ關シ準用ス

第六條 小學校令施行規則第九十條ノ出席簿ハ第二號ノ書式ニ依ルヘシ但シ兒童ノ氏名ハ成ルヘク學籍簿ノ順序ニ遺漏ナク登載スヘシ

兒童出席ノ狀況ハ第三號ノ書式ニ依リ翌月三日迄ニ當該郡市町及町村長ニ報告スヘシ前項ノ報告ニシテ單級小學校ニ係ルモノハ郡市長ハ更ニ之ヲ五日以内ニ知事ニ報告スヘシ

第七條 小學校令施行規則第九十三條ノ督促ハ報告ヲ受ケタルトキヨリ七日以内ニ終ルヲ要ス

第八條 小學校令施行規則第九十一條乃至第九十四條ノ就學又ハ出席ニ關スル取扱ハ各主務者ニ於テ別ニ帳簿ヲ製シ其ノ顛末ヲ明ニスヘシ

第九條 小學校令第三十八條ニ依リ兒童ノ出席ヲ停止シタルトキハ小學校長ハ其ノ事由及期間ヲ當該市町村長ニ報告スヘシ

第十條 小學校令第八條及小學校令施行規則第八十八條ニ依リ教育事務ノ委託ヲ受ケ若ハ他市町村ヨリ通學者アル場合ニ於ケル就學及出席事務ノ區分ハ左ノ例ニ依ルヘシ

一、出席事務(小學校令施行規則第九十三條ノ事務ヲ除ク)ハ該兒童在學ノ學校ニ於テ取扱フヘシ

二、其ノ他ノ事務ハ兒童在住ノ市町村ニ於テ取扱フヘシ

第十一條 兒童ノ就學及出席事務ニ就キテハ市町村長ハ區長及其ノ代理者並ニ學務委員ヲシテ便宜補助執行セシムヘシ

第十二條 小學校令施行規則第九十四條ノ場合ニ於テ督促ニ應セサルモノニ對シテハ行政執行法第五條ニ依リ處分スルコトアルヘシ

郡長ニ於テ前項ノ處分ヲ行ヒタルトキハ其事由ヲ具シ知事ニ報告スヘシ

第一號様式 (小學校令施行規則第八十二條ノ通知書式)

面 表

入學通知書	學齡兒童 氏 名
右本年何月何日何々小學校ニ入學セシムヘシ	
年 月 日	何市(町村)長 氏 名
兒童保護者 氏 名	名

裏面

注意

就學義務ニ背クトキハ行政執行法ニ依リ處分セララルコトアル
ヘシ

(小學校令施行規則第八十二條ノ通知書式)

入學通知書			
學齡兒童	氏名	族籍	住所
生年月	字	平民又ハ士族	番地
明治 年 月			
右本年何月何日入學候ニ付及通知候也			
年 月 日	何市(町村)長 氏	何何小學校長 氏	名宛
者護保童兒			
氏名	住所	族籍	職業
ノ兒童ト關係			

第二號書式

以上ハ便宜ニ葉ニ調製スルヲ妨ケスト雖豫メ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第三號書式

明治三十四年三月十五日縣令
第二十七號ヲ以テ改正ニ付削除

明治三十四年三月十五日縣令
第二十七號ヲ以テ改正ニ付削除

○學齡兒童就學實行設計方法

(明治三十三年十一月二十四日訓令第七十七號)

郡市役所
町村役場

- 第一條 學齡兒童ノ就學ヲ實行スル爲郡市町村長ハ此ノ規程ニ依リ設計ヲ立ツヘシ
- 第二條 就學ノ設計ハ左ノ標準ニ依ルヘシ
 - 一、義務兒童ヲ悉皆(學齡兒童總數ニ對スル凡百分ノ九十五)尋常小學校ニ入學セシメ

成規ノ出席ヲナサシメ且ツ必卒業セシムヘキコト

二、六七歳ノ幼童カ容易ニ通學シ得ヘキ最寄ニ學校ヲ配置スルコト

三、將來設置ノ學校ハ單級ヲ常例トスルコト但シ市街地等ニ於テ止ムヲ得サル事情アルトキハ此ノ限リニアラスト雖成ルヘク四學級ヲ超エサルヲ要ス

四、學校ノ設備ハ總テ小學校設備規則ニ依ルヘキコト

第三條 就學ノ設計ハ左ノ事項ニ依リ調査スヘシ

一、現在尋常小學校ヲ前條ノ標準ニ照シ其ノ不合格ノモノハ次年度内ニ改ムルコト

二、學齡兒童就學ニ關スル細則第三條ニ依リ翌年四月ニ於テ入學セシムヘキ兒童ヲ豫定シテ之ヲ現在ノ合格校舍ニ入レ得ヘキカ否ヲ調査シ若シ之ヲ入レ難キ見込ナルトキハ次年度内ニ於テ増築若ハ學校新設ノ設計ヲナスコト但シ當分借家若ハ半日學校ノ法ヲ以テスルモ妨ケナシト雖現ニ使用シ若ハ實行シ得ヘキ見込アルモノニ限ル

第四條 就學ノ設計ハ別表ノ式ニ依リ調製シ一月十五日限リ町村長ハ郡長ニ市長ハ知事

ニ進達シ郡長ハ更ニ郡計ヲ添ヘ二月一日マテニ知事ニ進達スヘシ

第五條 就學ノ設計ハ別ニ定ムル手續ニ依リ郡市役所ニ於テ之ヲ審査シ縣廳ニ於テ之ヲ確定ス

第六條 小學校設備規則第一條ノ手續ハ前條ノ審査確定ノ際履行スルモノトス

第七條 就學ノ設計ニツキテハ分教場ハ一學校ト見做ス

第八條 郡市長ハ就學實行ノ成績ヲ第四條ノ表式ニ依リ取調ヘ(設計數ハ墨書 成績數ハ朱書)毎年五月三

十一日限リ報告スヘシ
學齡兒童就學實行設計方法表式

何市町村明治何年度就學實行設計調査表

第一表

學 校	就 學		不 就 學		合 計
	男	女	猶 豫	免 除	
	卒業兒童	尋常科 已卒業 科 達見	新入學兒童	新舊免除	計
	尋常科 在學兒童	義務學童	新舊免除	新舊免除	計
	計	計	計	計	計
	學齡	就學	兒童	學齡	合 計

- 一、新築トハ新ニ一學校ヲ設置スルモノヲ云ヒ増築トハ在來ノ校舍ニ一室以上ニ建増スルモノヲ云フ其ノ新築増築ニ關係ナキ改造ハ其ノ旨ヲ備考中ニ記スヘシ
- 一、入込トハ在來ノ學級ニ空席アリテ尙之ニ入レ得ヘキモノヲ云フ
- 一、半日トハ一日中生徒ヲ兩分シテ教授スルモノヲ云フ故ニ室數坪數ハ其ノ教授ニ使用スルモノヲ記入スヘシ但シ收容兒童數ハ在來ノモノヲ混人セサル様注意スヘシ

一、費用中ニハ各校舍(現在校舍ニツキテハ改造模様替等)敷地及重ナル備品費ノ概算ヲモ加ヘ借家ニツキテハ一箇年ノ借賃ヲ算入スヘシ但シ郡市役所ニ於テハ尙細密ノ調査ヲナスコトアルヘシ

○學齡兒童ニ關スル事務豫定

(明治三十四年十二月二十七日訓令第五十九號)

郡市役所

町村役場

尋常小學校

第一 十二月一日ヨリ年末ニ至ル間

郡役所ニ於テハ各町村ニ於ケル就學準備事務(小學校令施行規則第八十條及學齡兒童就學ニ關スル細則第一條第二條等)ノ實地監督

第二 一月中ニ於テ凡三日間

郡(市)役所ニ於テ各町村長(市ハ區長)學務委員及尋常小學校長ノ會議ヲ開クヲ要ス其事項概左ノ如シ

- 一、學齡簿ノ審査(戶籍簿、寄留簿、學籍簿、出産簿等各照合セシヤ否ヤ等又學齡兒童ニシテ公簿ニ脱漏ノ者若シ公簿ニ其ノ名籍ヲ存ルモ行衛不明等ノ者ノ調査及處分等)
- 二、就學設計ノ審査
- 三、就學設計ニ關スル學校配置若ハ教育事務委託事項
- 四、就學實地事務ニ關スル各町村若ハ各區ニ於ケル日割等
- 五、學事年報ニ關スル調査方法
- 六、其ノ他ノ必要事項

第三 二月一日ヨリ凡三日間

郡視學(市ハ學事主任書記)ヲ縣廳ニ召集シ會議ヲ開ク其ノ事項概左ノ如シ

- 一、就學設計ノ確定(進達書持參)
- 二、學校配置若ハ教育事務委託事項(書類持參)
- 三、小學校教則實行上ニ關スル件(翌年度ニ關スル行政上ノ方針)
- 四、學事年報ニ關スル調査方法
- 五、其ノ他必要ノ事項

第四 前會議ノ終リヨリ

就學設計實行ニ關スル市町村會事務

第五 左ノ事務ハ三月中ニ結了スヘシ

- 一、小學校令、小學校令施行規則、學齡兒童就學ニ關スル細則及就學實地事務豫定日割等ニ依リ各町村若ハ各區ニ於テスル就學事務ニ對シ郡市長ノ實地ノ監督
- 二、就學ノ猶豫、免除ニ關スル處分但シ郡ニ於テハ成ヘク出張ノ官吏ニ委任シ出張先

ニ於テ敏速ニ決行セシムルコトヲ要ス

- 三、小學校令施行規則第九十五條ノ事務
- 第六 左ノ事務ハ四月中ニ結了スヘシ
 - 一、小學校令施行規則第八十九條ノ事務
 - 二、同則第九十一條及第九十三條ノ事務
 - 三、前各號ノ事務ニ對スル郡市長ノ實地ノ監督
- 第七 五月中ニ於テ凡三日間

郡(市)役所ニ於テハ各町村長(市ハ區長)學務委員及尋常小學校長ノ會議ヲ開クヲ要ス其ノ事項概左ノ如シ

- 一、就學實行ニ關ス(就學實行設計方法第八條)各町村學校ノ成績調査
- 二、學事年報ノ調査
- 三、前年度ニ於ケル小學校教育ノ成績
- 四、其ノ他必要ノ事項

第八 六月一日ヨリ凡三日間

郡視學(市ニ於テハ學事主任書記)ヲ縣廳ニ召集シ會議ヲ開ク其ノ事項概左ノ如シ

一、就學實行設計方法第八條成績審査(報告書持參)

二、學事年報ノ審査(進達書持參)

三、小學校教則實行上ニ關スル件(前年度各郡市小學校ニ於ケル教育成績ノ概況報告)

四、其他必要ノ事項

第九 郡視學(市ニ於テハ學事主任書記)會議ノ會日ハ時機ニ依リ變更スルコトアルヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ豫メ通知ス

○學校醫囑託ニ關スル規程

(明治三十一年三月二十二日
訓令 第十四號)

郡市役所
町村役場

第一條 郡市町村立學校ニ於テ學校醫ヲ置カントスルトキハ管理者ハ明治三十一年文部省令第七號規程ノ資格ヲ有スル者ニ就キ其ノ履歷書ヲ添へ囑託方ヲ知事ニ申請スヘシ但シ町村長ハ郡長ヲ經由スヘシ

第二條 特別ノ事情アリテ村立學校又ハ人口五千未満ノ町立學校ニ學校醫ヲ置クコト能ハサルトキハ町村長ハ其ノ事由ヲ詳具シ郡長ヲ經由シテ知事ノ許可ヲ受クヘシ

○學校基本財産管理方法ノ件

(明治三十五年十月三日
訓令 第五十號)

郡市役所
町村役場

學校基本財産ノ管理方法ニ付テハ法令ノ趣旨ニヨリ其管理監督上充分ノ注意ヲ加フヘキハ勿論ナリト雖モ其殖利方ニ關シテハ近年經濟界ノ狀勢ニ照ラシ更ニ注意ヲ要スルモノアリ故ニ從來個人又ハ會社等ニ貸付又ハ預ケ入ヲ爲セルモノハ漸次之ヲ郵便貯金若クハ

國債證書ニ變換スヘク又自今金額ヲ以テ設置ノモノ及基本財産ノ收入ハ成ルヘク右ノ方法ニ依ルヘキ様取計フヘシ

○公立學校職員俸給支給細則

(明治三十七年八月五日) 縣令第三十一號

第一條 公立ノ師範學校、中學校、高等女學校及實業學校ノ職員ニシテ奏任文官又ハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル職員ノ俸給支給方法ハ本令ノ外總テ國庫支辨ニ屬スル文官俸給支給ノ例ニ依ル

第二條 俸給支給定日ハ毎月二十一日トス但シ休日ナルトキハ順延トス

附 則

第三條 本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十二年縣令第十七號及本令ニ牴觸スル從前ノ規定ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

○公立學校准教員俸給及支給方法

(明治三十七年八月五日) 縣令第三十二號

第一條 公立ノ師範學校、中學校、高等女學校及實業學校實業補習學校ヲ除クノ職員ニシテ准教員タルヘキ者ノ俸給ヲ以テ給スルヲ常例トシ但シ月俸ヲ給セサルトキハ手當ヲ給ス

前項ノ支給額ハ月額七拾五圓以下トシ其支給方法ハ本令ノ外總テ本縣規定ノ奏任文官又ハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル公立學校職員俸給支給ノ例ニ依ル

第二條 公立ノ實業補習學校准教員ノ俸給及支給方法ハ本縣規定ノ小學校准教員ノ俸給額及支給方法ニ依ル

附 則

第三條 本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

○公立學校及公立圖書館職員旅費規則

(明治四十三年八月十九日) 縣令第三十九號

第一條 公立學校(小學校ヲ除ク)及公立圖書館職員公務ニ依リ旅行スルトキノ旅費ハ第

一號表ニ據リ之ヲ支給ス
 實習又ハ修學旅行等ノタメ出張スル場合ニ於テハ鐵道賃船賃ノ實費及第二號ニ依リ日當及宿泊料ヲ支給ス但シ船舶内ニ宿泊シタルトキハ宿泊料ヲ支給セス
 第二條 旅費支給方法ハ内國旅費規則ニ依ル
 第三條 第一條ノ旅費ヲ支給スルコトヲ得サル事情アルトキハ特別ノ支給ヲ爲スコトアルヘシ
 前項ノ場合ニ於テハ縣立ノ學校長及圖書館長ハ其意見ヲ知事ニ内申シ郡市町村立ノ學校及圖書館職員旅費ニ就テハ當該學校圖書館管理者ニ於テ豫メ其支給法ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ
 第四條 公立實業補習學校職員ノ旅費額及其支給方法ハ市町村立小學校教員ノ旅費額及其支給方法ニ依ル但シ學校長訓導ニ在リテハ正教員其他ニ在リテハ准教員ニ關スル規定ヲ準用ス

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス
 明治四十二年三月縣令第十四號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第一號表

種 別	鐵道賃		船賃		車馬賃		宿泊料		日 當	移 轉 料
	一哩ニ付	一哩ニ付	一哩ニ付	一哩ニ付	一夜ニ付	一日ニ付	一日ニ付			
奏任及奏任待遇ノ學校長及館長	縣外	四錢	五錢	參拾錢	貳	圓壹圓五拾錢	圓	五拾圓以內		
	縣內	四錢	五錢	貳拾五錢	壹圓五拾錢	壹	圓			
奏任待遇者	縣外	四錢	五錢	參拾錢	壹圓八拾錢	壹圓貳拾錢	圓	五拾圓以內		
	縣內	參錢	四錢	貳拾錢	壹圓六拾錢	壹	圓			
判任待遇者及判任待遇ノ館長及其ノ他ノ者(月俸五拾圓以上)	縣外	參錢	四錢	貳拾五錢	壹圓五拾錢	壹	圓	參拾圓以內		
	縣內	參錢	四錢	貳拾錢	壹圓六拾錢	壹	圓			

判任待遇者及判任待遇ノ館長及其ノ他ノ者(月俸五拾圓未満)

縣内	參錢	四錢	貳拾錢	壹圓	六拾錢	參拾圓以內
縣外	參錢	四錢	貳拾五錢	壹圓貳拾錢	八拾錢	

第二號表

奏任及奏任待遇者	日當一日ニ付	宿泊料一夜ニ付
	五拾錢	七拾錢
判任待遇及其他ノ者	五拾錢	五拾錢

公立學校及公立圖書館職員移轉料支給方法

(明治四十三年十一月二十二日) 縣令第四十六號

第一條 移轉料ハ表ニ定ムル所ニ從ヒ順路ノ里程ニ依リ陸路ニ換算シテ之ヲ支給ス但シ一里未滿ノ旅行ニハ之ヲ支給セス

第二條 里程ノ換算ハ鐵道一哩ハ陸路十五丁水路一海里ハ陸路十七丁トス

左表

奏任及奏任待遇ノ學校長及館長	百里以上	五十里以上	五十里未滿	廿里以上	十里以上	五里以上	五里未滿
	縣	外	縣	內			
奏任待遇者	四拾圓	參拾五圓	參拾圓	參拾五圓	參拾圓	貳拾五圓	貳拾圓
判任待遇者及判任待遇ノ館長及其他ノ者(月俸五拾圓以上)	參拾圓	貳拾五圓	貳拾圓	貳拾五圓	貳拾圓	拾五圓	拾圓

判任待遇者及判任待遇ノ館長及其他ノ者
(月俸五拾圓未満)

參拾圓 貳拾五圓 貳拾圓 貳拾五圓 貳拾圓 拾五圓 拾圓

○陸軍給與令又ハ海軍々人俸給令ニ依リ俸給ヲ受クル公立學校職員へ俸給差額支給ノ件

(明治三十九年六月一日 縣令第一一號)

公立學校職員ニシテ陸軍給與令又ハ海軍々人俸給令ニ依リ俸給ヲ受クル場合ニ於テ其ノ俸給額職員俸給額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ不足額ヲ給ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

○小學校長及教員名稱待遇ニ關スル件

(明治四十四年十一月六日 訓令第四百五十四號)

郡 役 所
市 役 所
小 學 校

今般勅令第二百七十三號ヲ以テ小學校長及教員名稱及待遇中ニ改正ヲ加ヘラレ市町村立小學校長ニシテ功勞顯著ナル者ニハ特ニ奏任文官ト同一ノ待遇ヲ賜フコトハナレリ是レ小學校教員ノ任務極メテ重大ナルニ顧ミ特ニ優遇ノ意ヲ明ニセラレタルニ外ナラス小學校長及教員ハ勅令改正ノ趣旨ヲ體シ一層奮勵シテ其本分ヲ盡シ以テ小學教育ノ實績ヲ擧ケンコトヲ期スヘシ

○公立私立實業補習學校教員採用解職並ニ其ノ制限ニ關スル規程

(明治四十一年二月二十五日 縣令第十二號)

第一條 公立實業補習學校ニ於ケル公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程第一條又ハ
 第二條ノ資格ヲ有セサル教員ノ採用解職ハ町村立學校ニ在リテハ郡長市立學校ニ在リ
 テハ市長之ヲ行ヒ其ノ都度知事ニ報告スヘシ

第二條 公立私立實業補習學校ニ於ケル公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程第一條
 又ハ第二條ノ資格ヲ有セサル教員ノ數之ヲ有スル教員ニ超過スル場合ニハ町村立學校
 ニ在リテハ郡長市立學校ニ在リテハ市長私立學校ニ在リテハ設立者ニ於テ知事ノ認可
 ヲ受クルヘシ

第三條 前條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスルトキハ當該學校現在教員ノ氏名、資格、
 資格ヲ有セサル者ノ履歷、從事ノ學科、擔任學科目及詳細ナル事由ヲ記載シタル書類
 ヲ添付スヘシ

第四條 本令ニ依リ私立實業補習學校設立者ニ於テ知事ニ提出スヘキ書類ハ其ノ學校所
 在地所屬ノ郡市長ヲ經由スヘク郡市長ハ其ノ意見ヲ具スヘシ

附 則

第五條 本令ハ明治四十一年四月一日ヨリ施行ス

○私立學校教員採用又ハ解職届出ノ件

(明治三十六年二月十日 縣令第四號)

私立學校ニ於テ教員ヲ採用又ハ解職シタルトキハ其都度五日以内ニ設立者ヨリ知事ニ届
 出ツヘシ但私立學校令第五條ニ依リ認可ヲ受ケタルモノノ採用ハ届出ヲ要セス採用ノ届
 出ニハ相當學校ノ教員免許狀ヲ有スルコトヲ證明シ得ヘキ履歷書ヲ添付シ解職届出ニハ
 解職事由ヲ詳記スヘシ

本令ハ小學校令施行規則第二百十一條ニ依ル届出ニ之ヲ準用ス

○壯丁教育成績調査規程

(明治三十九年三月二十七日 訓令第八號)

郡 役 所

市役所
町村役場

第一條 小學校教育ノ効果ヲ知リ以テ教育上ノ參考ニ資センカタメ本規程ニ依リ管内ノ壯丁ニ對シ教育成績ノ調査ヲ行フモノトス

第二條 成績ノ調査ハ徵兵署内ニ於テ特ニ別室ヲ設ケ之ヲ行フモノトス

第三條 成績ノ調査ハ左記教育程度ニ該當スル壯丁ニツキ之ヲ行フ

一、尋常小學校ヲ卒業セサル程度

(イ)未就學者

(ロ)半途退學者(修業年限二ケ年ノ尋常小學校卒業者ヲ含ム)

二、尋常小學校卒業程度

(イ)常尋小學校ヲ卒業シタル者(尋常小學校補習科ニ入り第二學年ヲ修了セサリシ者及高等小學校ニ入り第二學年ヲ修了セサリシ者ヲ含ム)

三、高等小學校第二學年修了程度

(イ)高等小學校第二學年ヲ修了シタル者(尋常小學校補習科ニ入り第二學年以上ヲ修了セシ者及高等小學校第四學年ヲ修了セサリシ者ヲ含ム)

四、高等小學校卒業程度

(イ)修業年限四ケ年ノ高等小學校ヲ卒業シタル者(高等小學校補習科ニ入りシ者ヲ含ム)前項第一號ノ(ロ)及第二號以下各號ノ(イ)中ニハ總テ小學校以外ノ教育ヲ受ケタル者ヲ含有セス

第四條 調査スヘキ學科目ハ國語(讀方)算術(筆算)ノ二科トシ其程度ハ前條第一項各號ニ於ケル學年ノ修了又ハ卒業ノ程度ニ依ル但尋常小學校ヲ卒業セサル者ニツキテハ尋常第二學年ノ程度ニ依ルモノトス

第五條 調査ノ問題ハ相當程度ノ小學校教科書ニ依リ知事ノ定メタル標準ニ基キ郡市長之ヲ撰定シ成績ノ調査ハ郡長ニ於テハ郡視學市長ニ於テハ市學事主任書記ヲシテ之ニ當ラシムルモノトス但郡書記或ハ他ノ市書記又ハ小學校長教員ヲシテ便宜補助セシムルコトヲ得

市町村立小學校教員加俸令第七條第一項及第二項ニ依リ特別加俸ヲ受クル者ノ擔任スル學級ノ毎年五月一日及十一月一日現在兒童數ヲ左ノ様式ニ依リ調査シ其月十日限報告スヘシ

郡市役所

特別加俸受領者擔任學級兒童數調

明治 年五月(十一月)一日現在

何尋常(尋常高等)小學校(何分教場)

計	女	男	
			尋常一學年
			尋常二學年
			尋常三學年
			尋常四學年
			尋常五學年
			尋常六學年
			合計
			擔任訓導氏名

右報告候也

年月日

知事宛

郡市長

○生徒身体検査表ニ通差出方

(明治三十四年三月二十九日訓令第十三號)

縣立學校

郡市立學校

町村立學校

私立學校

明治三十三年(三月)文部省令第四號第七條ニ依リ報告スヘキ身体検査統計表ハ自今ニ通ヲ調製シ差出スヘシ

○大演習舉行ニ關シ公立學校ニ於ケル準備方

(明治三十四年九月十三日)
内訓 第五號

各郡市長
各縣立學校長

本年陸軍大演習御舉行ニツキ公立學校ニ於ケル準備中別記ノ事項ハ豫メ之ヲ注意シ不都合ナキ様取計フヘシ但私立學校長ヘハ便宜示達スヘシ(但書ハ郡市長ノミ)
右内訓ス

大演習ニ關シ學校ニ於ケル準備方

敬禮法

- 一、天皇陛下皇族殿下ニ對シ奉ルトキハ最敬禮ヲ行フヘシ(行幸ノトキハ通例錦旗ヲ奉掲セル御先驅アル筈ナレハ注意スヘシ)
- 軍旗(各聯隊ノ中 央ニ在リ)ニ對スルトキ亦同シ但シ軍旗ニ上覆ヲ附シタルトキハ此限ニアラス
- 二、最敬禮ハ男子ハ帽ヲ脱シ(右手ニテ帽 庇ヲ摘ミ)體ノ上部ヲ前ニ傾ケ頭ヲ垂レ兩手ヲ膝ニ當テ(少シク膝脇ニ掌並ニ帽裏ヲ内ニシ)敬意ヲ表スヘシ此場合ニ於テハ膝節ヲ屈セサル様注意スヘシ女子ハ

體ノ上部ヲ前ニ傾ケ頭ヲ垂レ兩手ヲ膝ニ當テ敬意ヲ表スヘシ此ノ場合ニ於ケル體ノ注意方前ニ同シ

- 三、停車場若クハ道路ニ於テ奉送迎ノ場合ニハ生徒ハ豫定ノ位置ニ整列(線路又ハ通 路ニ向テ)セシメ職員ハ便宜其ノ左右等ニ配置シ校長若クハ其ノ代理者ハ御馬車ヲ迎フル方ノ先位ニアリテ全體ヲ監督シ豫メ姿勢ヲ正サシメ(直立不動並ニ脱帽等)御車馬ノ來ル方ニ(氣ヲ付ケノ號令ヲ以テ)一齊ニ注目セシメ(各自チテ遙拜ヲ得シメシカ爲ナ)前回御通過ノ際順次最敬禮ヲ行ハシムヘシ(即チ各自ノ正面ヨリ右又ハ左ニ凡ニ間許リ近キ給フチ度トシテ敏捷且鄭重ニ最敬禮ヲ行ハシムヘシ)御車馬御停メ中ハ直立不動ノ姿勢ヲ保タシメ(最敬禮ヲ行ハシムヘシ)猥リニ發言スル等ノコトナカラシムヘシ
- 四、軍隊其他砲車等ニ接近スヘカラス若シ途中之レニ行遇フトキハ其通過ノ妨ケトナラサル様豫メ路傍ニ避クヘシ
- 五、整列奉送迎ノ場合ニ於テハ豫メ各員ト服裝及携帶品等ヲ點檢シ違式等ノコトナカラシメ携帶品ハ別ニ便宜ノ場所ニ之ヲ置カシムルヲ要ス校旗其他成規外ノ徽章等ハ凡

テ持參スヘカラス但シ奉送迎員ノ名刺雛形等ハ追テ示達スヘシ

六、職員若クハ生徒隊ヲ組マサル場合ニ於テハ前各項ニ準シ敬意ヲ表セシムヘシ

服裝(奉送迎)

一、職員男ハ通常禮服タルヘシ但シ學校ノ制服アルモノハ之レヲ着用シ其他ハ(羽織紋付)袴又ハ「フロックコート」ヲ代用スルコトヲ得

帽子靴ハ黒色ノモノタルヘシ洋服ニシテ下駄、草履ヲ用ウル等ノ不体裁アルヘカラス

和服ノ時ハ草履又ハ靴ヲ用ウヘシ

二、職員女ハ白襟紋付(成ルヘク)木綿質(成ルヘク)ヲ着用スルカ又ハ其ノ土地ニ於ケル從來通例ノ禮裝タルヘシ

髮飾、帶、履物(草履)等清潔質素ヲ旨トスヘシ

三、生徒ハ學校制服又ハ其ノ土地ニ於ケル從來通例ノ禮裝タルヘシ

其他ハ職員ニハ準スヘシ

四、雨天ノ場合ニ於テハ各員雨具ヲ用フルヲ得ヘシト雖モ最敬禮ノトキハ凡テ之ヲ脱シ且不体裁ナラサル様注意スヘシ

校長注意

一、敬禮ハ隊列ノ場合ト單獨ノ場合トニ拘ハラス職員及生徒ニ至ルマテ豫メ能ク之レヲ練習シ毫モ不敬ノコトナキ様注意スヘシ

二、服裝等ニツキテハ男女職員若クハ生徒ニ至ルマテ俄ニ之ヲ新調シ若ハ華美ヲ競フ等ノコトナキ様直接間接ニ嚴重ナル注意ヲ加ヘ專ラ清潔ニシテ不敬ニ涉ラサルヲ度トシ毫モ父兄等ニ迷惑ヲ感セシメス誠意歡迎ノ趣旨ヲ徹底スルヲ要ス小學校女兒ノ袴ハ未タ之レヲ制服ト定メス且新調競争ノ事等教育行政上ニ影響ヲ及ホスヘキ虞アルヲ以テ用キシメサルヲ要ス

三、雨天ノトキハ雜沓ヲ防クコト不時ノ疾病ノ取扱ノコト危險ノ場所ニ近寄ラシメサルコト耕作地等ニ侵入セシメサルコト樂書投石若ハ路傍ニ惡戯ヲナサシメサルコト喧嘩ニ涉ラサルコト他人ニ對シ不遜ノ言行ヲ戒メ凡ヘテ叮嚀親切ナルヘキコト其ノ他

- 演習ハ勿論通路往來等ノ妨ケトナラサルコト職員ニシテ異装シ若ハ改マルヘキ場合ニ喫煙シ又ハ唾ヲ吐クコト等豫メ注意ヲ加ヘ苟モ惡習慣ハ之レヲ矯メ教育者又ハ子弟タルノ本分ヲ守ラシムルコトヲ要ス
- 從來汽車疾走中途ニ於テ兒童鐵道線路ニ接近シ汽車ニ對シテ大聲呼號スル等ノコト往々ナキニアラサルモ是等ハ極メテ惡習慣ナルヲ以テ前項同様豫メ注意シ兼テ校外ノ兒童等ニモ感化ノ普及ヲ期スルヲ要ス
- 四、成規ノ學校清潔法ヲ勵行スヘシ
- 五、演習中及其前後ハ特ニ宿直ニ注意シ臨時ノ用辨ニ差支ナカラシムヘシ
- 六、奉送迎ニ出ツヘキ學校、場所及日時並ニ演習參觀ニ關スル臨時ノコトハ別ニ示達スヘシ
- 七、其他明治三十四年二月訓第一號ノ注意ヲ要ス

(明治三十四年十月二十二日內訓第六號ヲ以テ左記ノ通り追加)

- 一、汽車疾走ノ中途ニ於テ奉送迎ヲナス場合ニ於ケル敬禮法ハ男女共直立不動ノ姿勢ヲ

- 以テ御乗車ノ方ニ注目セシムヘシ其ノ他脱帽、號令等ノコトハ前內訓敬禮法ニ準スヘシ(鐵道線路ニ接近セシメサハ様注意ヲ要ス)
- 二、奉送迎ニ際シ御通過後整列ノ生徒ヲ直ニ解散スルトキハ生徒ハ勿論一般衆人ノ往來ニ妨ケヲ生シ且往々危險ノ恐レアルヲ以テ校長ハ其ノ模様ニヨリ往來ノ靜マリタル場合ヲ見計ヒ又ハ混雜ナキ場所ニ引卒シ然ル後解散スルヲ要ス
- 生徒ノ隊ヲ組ミ行進スル場合ニ於テハ道路ノ模様ニヨリ中間若クハ一方ヲ通行セシメ又隊列ハ成ルヘク小隊ニ分チ隊毎ニ適宜ノ間隔(凡一間以上)ヲ置キ一般公衆ノ往來ヲ妨ケサル様注意スヘシ
- 三、奉送迎及大演習參觀ハ宿泊ヲ要セサル範圍ニ於テ取計フヲ要ス但シ縣立學校ニハ別ニ指示スヘシ
- 四、奉送迎ノ場所(仙臺市ニ於テ奉送迎ノ分ハ別ニ縣廳ヨリ指定ス)ハ他ノ奉送迎者ノ分ト共ニ郡長ニ於テ其ノ人員ヲ見積リ豫定シ置クヘシ
- 前項ノ場合ニ於テ停車場等へ豫メ交渉シ又場所ニヨリ二郡以上ニ亘ルトキハ其ノ各

郡長協議ノ上取計フヘシ(但シ停車場ヘハ流行病等取締ノ爲メ高等官、貴衆兩院議員及縣郡市町村會
議員ノ代表者市町村長ノ外一切入場謝絶ノ旨日本鐵道會社ヨリ通牒アリ參
考ノ
コト)

五、奉送迎ニ出スヘキ生徒ニ關シテハ郡市長若ハ校長ハ左ノ事項ヲ參考シ臨機處分スヘシ

(い)道路ノ遠近

(ろ)高等尋常學年學級年齡若ハ男女ノ區別等

(は)天氣ノ晴雨等

(に)御發着若ハ御通過ノ時刻及度數等

六、奉送迎ノ名刺ハ別記ノ書式ニ依リ校長ヨリ之ヲ供奉ノ知事又ハ縣廳ノ官吏ニ差出ス

ヘシ但多數集合ノ場合ニ於テハ集合上席ノ官吏若ハ職員之ヲ取纏メ差出スヘシ

七、奉送迎ノ場合ニ於テ校旗ハ生徒ノ集合ニ便スル爲メニハ整列最寄適宜ノ場所ニ携帶

スルヲ得ヘシト雖モ之ヲ整列中ニ加フルハ前内訓ノ通遠慮スヘシ但シ演習地區域内

ニ於テハ次項ノ旗ノ外携帶スヘカラス

演習參觀ノ場合ニ於テハ別紙雛形ノ白旗ヲ携帶シ行軍中ハ其ノ先頭ニ停止中ハ其ノ中央ニ立ツヘシ

八、夜中奉送迎スル生徒ノ隊列ニハ其生徒ノ員數ニ應シ成ルヘク學校名ヲ記シタル高張

提灯ヲ携帶スルヲ要ス但携帶人足ノ類ヲ列前ニ立タシムル等ノ事ナキ様注意スヘシ

九、生徒ノ演習參觀ハ成ルヘク學校職員之ヲ引卒スルヲ要ス

十、演習參觀ニ付キハ校長若クハ生徒附職員ハ演習地取締ノ掛官憲兵警察官等ノ指示ニ

從ヒ總テ演習ノ妨害トナラサル様注意スヘシ

十一、御幸御發着及特別大演習ノ日時等ハ他ノ公達ニ依ルヘシ

(名刺雛形)

奉迎 (送)

職員

用紙學校用全野紙

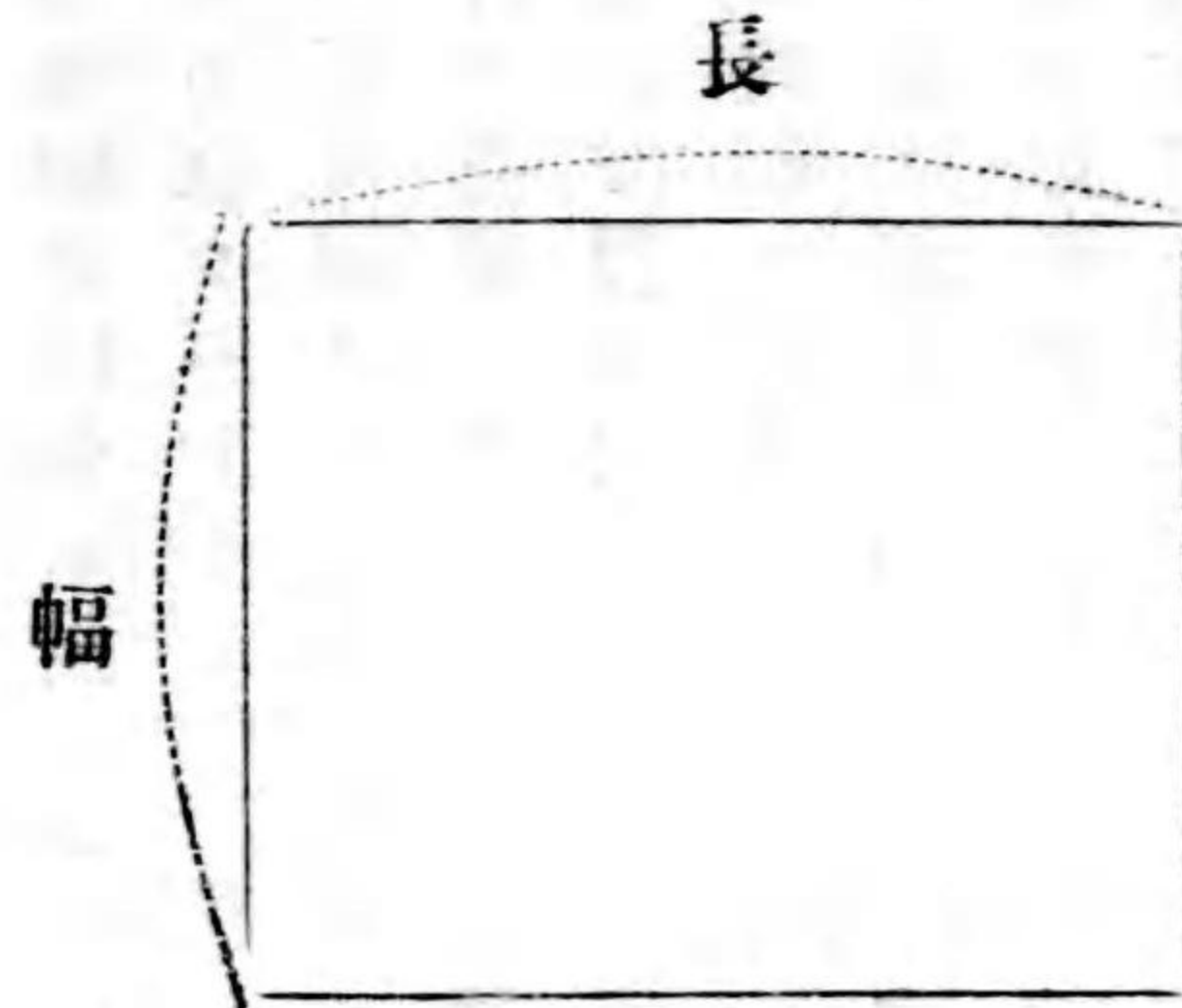
宮城縣何學校長教諭訓導若クハ何々

何 誰

同 何 誰

何 誰

(白旗雛形)



幅 天竺木綿ノ幅
長 凡 四 尺

生徒

宮城縣何學校生徒

何

宮城縣何郡市何小學校兒童

何

人 人

○圖書館ノ施設ニ關スル注意事項

(明治四十三年二月二十五日
訓令 甲 第五號)

縣立學校

郡市役所

町村役場

郡市町村立學校

近來公立私立ノ圖書館又ハ圖書閱覽所ノ類漸次多キヲ加フルノ狀アルハ洵ニ喜フヘキ現象ニシテ將來益々之ヲ普及スルト共ニ内容ノ改善整頓ヲ圖ラサルヘカラス縣立圖書館ニ於テ本年度ヨリ巡回文庫ヲ實施セルモノ亦此ノ目的ヲ達スルノ一助タラシメントセシニ外ナラス依テ左ニ圖書館ノ施設ニ關シ特ニ注意ヲ要スル事項ヲ掲ケ以テ大体ノ標準ヲ示サントス

圖書館ノ施設ハ規模ノ大小ニ應シテ取捨斟酌宜シキヲ得サルヘカラス近時設立セラル、通俗圖書館又ハ小學校ニ附設スル圖書館青年團體ノ事業タル圖書閱覽所ノ類施設其ノ宜シキヲ得ルトキハ小學校及青年並家庭ノ教育ヲ裨補スル上ニ於テ其ノ効益尠少ニアラサ

ルヘシ而シテ此ノ類ノ圖書館ニアリテハ健全有益ノ圖書ヲ撰擇スルコト最モ肝要ナリトス
 故ニ成ルヘク其ノ施設ヲ簡易ニシ主トシテカヲ有益ナル圖書ノ蒐集ニ用ヒンコトヲ要ス
 若シ夫レ相當ノ資力ヲ有シ完全ナル圖書館ヲ設立セントスルモノニアリテハ地方ノ實況
 ニ應シ成ルヘク此ノ標準ニ準據シテ適當ノ施設ヲ爲スヲ可トス
 學校又ハ郡市町村ニ於テ自ラ經營スルト他ノ經營ヲ指導スルトヲ問ハス克ク此ノ趣旨ヲ
 体シ十分ノ効果ヲ收メンコトヲ期スヘシ

圖書館設立ニ關スル注意事項

一、圖書館ハ學術研究ニ資スルト共ニ一般公衆ノ讀書趣味ヲ涵養シ其ノ風尙ヲ高メ其
 ノ智徳ヲ進ムルノ用ニ供スルモノナレハ圖書館ノ種類目的ニ應シ適當ニシテ有益
 ナル書籍ヲ撰擇蒐集センコトヲ要ス通俗圖書館ニ在リテハ殊ニ然リトス依テ其ノ
 蒐集スヘキ書籍ハ勿論其ノ寄贈ニ係ルモノ、如キモ一般公衆殊ニ青年兒童ノ閱覽
 ニ供スヘキ雜誌類ニ就キテハ十分取捨撰擇ニ注意シ最モ健全ニシテ有益ナルモノ

ヲ撰ミテ閱覽用ノ書目ヲ調製スヘシ
 一、便宜ノ方法ニ依リ時々一般又ハ關係ノ類似セル圖書館主任ノ會議ヲ開キ或ハ通信
 等ニ依リ其ノ閱覽ニ供スヘキ圖書ノ種目ニ關シ標準ヲ議定スルヲ要ス
 一、圖書館ハ單ニ其ノ地方ニ古來存在セル古書類ヲ收容シ又ハ寄贈ヲ受ケテ之ヲ閱覽
 セシムルニ止マラス常ニ有益ナル新刊圖書ノ増加ヲ圖リ館内ニ於テ閱覽ニ供スル
 ハ勿論廣ク館外ニ貸出シ稍々規模ノ大ナル圖書館ニアリテハ或ハ分館ヲ設ケ或ハ
 巡回文庫ノ制ヲ立ツル等成ルヘク地方一般ニ書籍ノ供給ヲ圖ランコトヲ要ス
 一、圖書館ハ一般公衆ノ智識ヲ進メ修養ニ資スヘキハ勿論ナリト雖モ特ニ學校及家庭
 並公私團體ト相俟テ教育ノ効果ヲ收ムルコトニ務メ或ハ學校ト聯絡シテ教員ノ學
 科教授上ニ於ケル參考ニ供シ或ハ家庭並公私團體ニ對シテ其ノ子弟團員等ヲシテ
 陋劣ナル書籍ヲ手ニセサル習慣ヲ養成セシムヘシ
 一、圖書館ハ土地ノ情況及讀者ノ種類ニ應シ適切ナル圖書ノ撰擇ヲ爲サ、ルヘカラス
 例ヘハ工業地ニハ工業ニ商業地ニハ商業ニ農業地ニハ農業ニ關シ各必要ナル圖書

ヲ供給スルカ如シ又其ノ所在地方ニ關スル圖書記録類並其ノ地方人士ノ著述ヲ蒐集スルコト最肝要ナリトス

一、圖書館ヲ建設セントスルニ方リテ府縣廳所在地其ノ他稍々大ナル市街地ニ在リテハ其ノ敷地ハ主トシテ交通風教衛生ノ諸方面ヨリ觀察シテ最モ適當ナル場所ヲ選ヒ其ノ建築ハ閱覽、管理、衛生上ノ便ヲ圖リ力メテ外觀ノ虚飾ヲ去リ質素堅牢ヲ旨トスヘシ而シテ土地ノ狀況ニ依リ圖書館ノ敷地ヲ交通ノ便ナル所ニ求メ難キトキハ分館又ハ巡回文庫ノ制ニ依リ其ノ缺點ヲ補足スルヲ可トス

一、圖書館ノ設備ハ概ネ左ノ各號ニ依ルヘシ但簡易ナル圖書館並小學校等ニ附設スルモノハ此ノ例ニ依ルコトヲ要ス

一、圖書館ハ閱覽室書庫及事務室ヲ區分スルヲ可トス其ノ他地方ノ必要ト經費ノ多少トニ應シ成ルヘク兒童室、婦人室、特別閱覽室、休憩室、製本室、使丁室等ヲ設クルヲ便トス

二、閱覽室ノ構造ハ主トシテ通風及採光ニ注意スヘク書庫ハ成ルヘク煉瓦造又ハ土

藏造トシ廊下ヲ以テ閱覽室ニ接續セシメ點燈其他必要已ムコトヲ得サル場合ノ外火氣ヲ其ノ内ニ入レサルヲ可トス書庫ノ天井ト床トノ距離ハ九尺乃至十尺トシ書函ト側壁トノ間隔及書函ト書函トノ間隔ハ共ニ約二尺五寸トシテ之ヲ通路ニ充ツルヲ可トス

三、器具ハ閱覽室用卓子、椅子、圖書出納臺、牌子目錄函、辭書臺、貸出目錄函ノ類ニシテ實際ノ必要ニ應シ成ルヘク之ヲ具備スルヲ可トス

四、帳簿目錄類ハ事務用トシテ圖書原簿函架目錄、事務用牌子目錄、貸出牌子目錄等ニシテ閱覽用トシテ件名目錄、洋書著者目錄、同分類、和洋書書名錄、同分類等ニシテ實際ノ必要ニ應シ成ルヘク之ヲ具備スルヲ可トス而シテ目錄類ハ原簿、函架目錄ノ類ヲ除クノ外成ルヘク一般ニ牌子式ニ依リ帳簿記入式ニ依ラサルヲ便トス

○實業補習學校設置ニ關スル件

(明治三十五年一月二十八日)
訓令 第 二 號

郡市役所
町村役場

今般文部省令第一號ヲ以テ實業補習學校規程ヲ發布セラレ同時ニ文部大臣ヨリ其ノ趣旨及施設ノ方針ニ關シ訓令明治三十五年一月十五日官報第五五七號文部省訓令第一號セラレタリ自今郡市町村ニ於テ該校設置ニ付テハ右ノ趣旨方針ニ隨フヘキハ勿論土地ノ情況ニ應シ漸次一般ニ此種ノ學校ヲ増設スルノ計畫アラシコトヲ要ス

○尋常小學校准教員養成方

(明治三十二年二月十七日訓令第十四號)

各郡市長

郡市ニ於テハ其ノ郡市内尋常小學校准教員補充ヲ目的トシ適宜ノ方法ニ依リ郡市費ヲ以テ有志望者ノ學術ヲ豫習セシムル様取計フヘシ但シ其ノ方法ニ就テハ宮城縣師範學校長ニ協議スヘシ

右訓令ス

○幼稚園保姆檢定及免許ニ關スル規程

(大正二年十一月二十五日縣令第四十七號)

- 第一條 幼稚園保姆ノ檢定ハ無試驗檢定及試驗檢定トシ學力、性行及身體ニ就キ之ヲ行フ
- 第二條 保姆ノ無試驗檢定ハ隨時之ヲ行ヒ試驗檢定ハ毎年五月及十一月ニ於テ之ヲ行フ
試驗檢定ノ出願期日試驗場及日割ハ試驗ノ都度豫メ之ヲ告示ス
- 第三條 保姆ノ無試驗檢定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ就キ之ヲ行フ
 - 一、他府縣ニ於テ授與シタル幼稚園保姆ノ免許狀ヲ有スル者
 - 二、修業年限四ケ年以上ノ高等女學校若クハ之ト同程度以上ノ女學校ヲ卒業シタル者
 - 三、官公立學校等ニ於テ保姆タルニ適當ナル教育ヲ受ケタル者
 - 四、其ノ他知事ニ於テ適當ト認メタル者

第四條 保姆ノ試験科目及其程度ハ左ノ如シ

修身 道德ノ要旨

教育 保育法ノ大要

國語 普通文ノ講讀並作文習字

算術 整數、分數及小數、諸等數、步合算

理科 博物、物理化學ノ初歩

圖畫 簡易ナル自在畫

音樂 單音唱歌及樂器用法ノ大要

第五條 保姆ノ檢定ヲ請フモノハ第一號書式ノ願書ニ第二號書式ノ履歷書第三號書式ノ身體檢查書及戶籍抄本ヲ添ヘ原籍地市町村長ノ證明ヲ受ケ無試験檢定ハ隨時試験檢定ハ出願期限マテニ現住地所轄郡市役所ヲ經テ差出スヘシ但他府縣ニ居住スルモノハ直接當廳ニ出願スヘシ

第六條 市町村長ハ幼稚園保姆檢定出願者ニシテ前條ノ證明ヲ求ムル者アルトキハ小學

校令施行規則第一百四條第一號及第三號ニ該當ノ有無ヲ調査シ第一號書式ニ準シ證明スヘシ

第七條 保姆ノ無試験檢定ヲ出願シタル者ニシテ全部又ハ一部ノ試験ヲ必要ト認メタル場合ニハ特ニ其科目ノ試験ヲ受ケシムルコトアルヘシ

第八條 保姆ノ檢定ニ合格シタル者ニハ第四號書式ノ免許狀ヲ授與ス

第九條 保姆ノ試験檢定ヲ受ケタル者ニシテ其試験ニ合格セサルモ某科目ニ關シ成績佳良ナル者ニハ第四號書式ノ證明書ヲ授與ス

第十條 保姆ノ檢定ヲ出願スル者ハ手数料金五拾錢ヲ納ムヘシ

免許狀ノ書換若ハ再渡ヲ出願スル者ハ手数料金拾錢ヲ納ムヘシ
既納ノ手数料ハ誤納ノ場合ノ外之ヲ還付セス

第十一條 前條ノ手数料ハ願書ト共ニ町村ニ在リテハ所轄郡役所内市若クハ他府縣ノモ

第十二條 出納吏又ハ縣支金庫ニ於テ前條ノ手数料ヲ收入シタルトキハ該領收證ニ基キ

願書ノ欄外ニ其ノ金額及收入濟年月日ヲ記入シ取扱者捺印スヘシ
第十三條 小學校教員免許狀褫奪又ハ保母ノ免許取消ノ處分ヲ受ケ三箇年ヲ經過セサル者ハ保母ノ免許ヲ受クルコトヲ得ス
第十四條 保母ノ免許ヲ得タル者不正ノ所爲又ハ保母タルヘキ体面ヲ汚辱スルノ所爲アリタルトキハ保母ノ免許ヲ取消スコトアルヘシ

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ本年ニ限リ第二條ノ試験檢定ハ之ヲ行ハス
第一號書式

幼稚園保母無試験(試験)檢定願

私儀本縣管内幼稚園保母志願ニ付檢定相受度別紙履歷書戶籍抄本身体檢查書及檢定手数料金五拾錢相添へ此段相願候也

年 日 月

現 住 所

族 籍 氏

名 印

生 年 月

宮城縣知事氏 名殿

右ハ明治三十三年文部省令第十四號第百四條第一號及第三號ニ該當スル者ニ無之候也
年 月 日 道府縣郡市町村長氏 名 印

第二號書式

履 歷 書

道府縣華士族平民

位勳爵 氏

名

現 住 所

何府縣何郡市町村字何番地

本 籍 地

何府縣何郡市町村字何番地

生 年 月 日

年 號 年 月 日 何地ニ於テ生ル

年 號 年 月 日

修學 叙任 免黜 賞罰 事故

明 治 何 年 月 日

何々何校ニ入學

官 公 衙

何年月日	何々卒業(證書寫添)又ハ退學	
何年月日	何整ニ入り又ハ何某ニ從ヒ何月間修業	
何年月日	何々試験ヲ受ケ合格何證ヲ受ク(證書寫添)	
何年月日	何々免許狀ヲ受ク(免許狀寫添)	
何年月日	何々ヲ命ス 月俸何圓	何官廳
何年月日	依願何々ヲ免ス	同上
何年月日	何々ニ依リ賞又ハ譴責(其全文ヲ記ス)	同上
何年月日	何々幼稚園保姆見習トシテ就職現今ニ至ル又ハ何年月日退職	同上

以上記載ノ例ニ倣ヒ年月日ノ順序ニ依リ楷書ニテ認ムヘシ
 叙任叙勳又ハ轉任免職其ノ他年功加俸一時賜金恩給等總テ官署ヨリ發シタルモノハ其ノ年月日及辭令ノ全文ヲ記シ其官署名ヲ記入スヘシ
 第三號書式

身体検査書

- 一、体格
- 一、身長
- 一、体重
- 一、胸圍
- 一、中心視力
- 一、色盲
- 一、眼病
- 一、聽力
- 一、耳疾

族籍

氏

生 年 名
月

- 一、呼吸器
 - 一、神經系
 - 一、皮膚
 - 一、言語
 - 一、既往現在ノ疾病又ハ畸形
- 右検査候處相違無之候也
- 年月日検査

住所

何學校醫(學校醫ニアラサル者ナルトキハ其學位稱號若ハ資格ヲ記載スヘシ)

何 某印

附記

身体検査書記載方ハ明治四十一年一月文部省令第三十二號教員檢定ニ關スル規程ニ依リ作成スルコト

第四號書式

幼稚園保母免許狀

族籍

氏

生年月名

右ハ宮城縣管内ニ於テ幼稚園保母タルコトヲ免許ス

宮城縣知事位勳爵 氏

名印

第五號書式

證明書

族籍

氏

生年月名

何科

右ハ幼稚園保姆試驗檢定ニ於テ前記ノ科目成績佳良ニ付之ヲ證明ス

年月日

宮城縣

番號

○郡視學事務功程報告規程

(大正元年十二月二十七日訓令甲第二十七號)

郡役所

第一條 郡長ハ郡視學事務功程ヲ別記ノ様式ニ依リ毎年第一期第二期第三期ノ三回ニ分チ各期間終了ノ翌月十日限知事ニ報告スヘシ

第二條 前條ノ期間ハ左ノ通定ム

第一期 四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第二期 九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル

第三期 一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

附則

第三條 本令ハ大正二年一月一日ヨリ施行ス

様式

一、郡視學事務功程

(年度第 期分)

小學校	同分教場	實業補習學校	其他郡立町村立各種學校	視察		計	日數	
				內容視察	其他視察		簡月	其他視察
				總數	當期間一回モ視察セサル數			

クハ東京市及静岡神奈川兩縣下ニ於ケル大火災ノ如キ其他各地方ニ於テモ亦火災頻發其狀誠ニ寒心ニ堪ヘサルモノアルヲ聞ク縣下ニ於テハ未タ幸ニ是等被害ノ大ナルモノナシト雖トモ由來本縣ハ年々火災ノ度數三百七十回ニ上リ其損害高平均約四十萬圓ニ達ス而シテ之ニ間接ノ損害ヲ加フレハ少クモ六十萬圓ヲ下ラス之ヲ縣歲計豫算ノ平均額約百二十餘萬圓ニ比スレハ實ニ每歲約半額ニ近キ大損害ヲ知ラス識ラスノ間ニ釀シツ、アリ本縣財政上頗フル重大ノ關係ヲ及スモノナレハ最モ注意セサルヘカラス況ンヤ時適火災多キ季節ニ會スルヲ以テ尙一層深大ノ注意ヲ要ス而シテ火災ノ原因タル種々アリト雖トモ要スルニ一ハ火氣取扱ノ疎漏ナルト一ハ放火弄火等ニ屬スルヲ以テ之レガ絶滅ヲ計ルニハ警察及教育ノ兩方面ヨリ人民ノ自覺ヲ促サ、ルヘカラス即チ一面教育ニ依リテハ火氣ヲ取扱フ婦人及學校ノ兒童等ニ對シ之レカ講話訓育ヲ施シ一面其土地ノ事情ニ適應スル警火ヲ嚴重ニ勵行セシムルニアリ就テハ此際至急警察官署長ハ郡市町村長小學校長ト協議ノ上銳意適宜ノ方法ヲ講シ誓テ如上ノ慘害ヲ未發ニ防止スルコトニ努メラルヘシ

○火災警防ニ關スル件

(大正二年十一月四日
訓令甲第三十二號)

郡市役所

警察署及分署

町村役場

市町村立小學校

火災豫防ニ關シテハ本年三月訓令甲第十五號發布ノ當時ヨリ之カ施設督勵ニ努メツ、アルヲ信スルニモ今ヤ冷氣日増ニ募リ隨テ火氣ノ使用漸ク繁ク風力亦其勢ヲ強メントシ警火上大ニ警戒ヲ要スルノ期節トナリシノミナラス本年ハ風水ノ爲メニ縣下到處所甚大ノ損害ヲ蒙リタルニ際シ若シ一朝火災ノ襲フ所トナリ更ニ一層ノ困憊ヲ加フルカ如キコトアルニ於テハ容易ナラサル儀ニ付此際郡市長ハ警察署長ト協議ノ上町村長學校長ト共ニ一般火災豫防上ノ施設ハ勿論學校生徒女子等ニ至ルマテ更ニ一層ノ注意ヲ喚起セシメ尙左記事項ニ關シテハ特ニ嚴重勵行セラルヘシ

一、煙突及竈ノ掃除ヲ適確ニ實行セシムルコト

- 二、營業用タルト否トヲ問ハス竈ノ位置又ハ構造ニシテ防火上不適當ト認メラルルモノニ對シテハ改造又ハ修繕ヲ督勵セラルヘシ若シ萬一無資力ニシテ改造又ハ修繕等ヲ實行シ能ハサル者ニ對シテハ町村若クハ警火組合ノ共助其他相當ノ方法ヲ講シ之レカ實行ヲ期スルコト
- 三、炬燵ニハ金網若クハ格子蓋ノ裏ニブリキヲ張リタルモノヲ使用セシムルコト
- 四、金屬製油壺ノ洋燈設備ヲ督勵スルコト

○郡市長委任事項ノ件

(大正三年四月十七日
縣令第二二二號)

左ニ記載スル一乃至二十一ノ事件ハ郡長ニ其五、九、十五、十七ノ事件ハ市長ニ委任セシニ依リ該件ニ關スル願届等ハ郡長市長ニ差出スヘシ
明治二十九年三月二日縣令第十一號ハ之ヲ廢止ス

記抄

第十五 市町村立小學校代用教員採用解職ノ事

○郡市町村立學校(小學校ヲ除ク)及圖書館ニ關スル
取扱規程

(大正三年四月二十八日
訓令甲第二二三號)

郡 役 所
市 役 所

- 第一條 郡市長ハ他ニ令規アルモノヲ除ク外此ノ規程ニ依リ所轄郡市町村立學校及圖書館ニ關スル取扱ヲナスヘシ
- 第二條 職員ノ進退ニ關シテハ必要ナル書類ヲ添ヘ意見ヲ具申スヘシ
- 第三條 三泊以上ノ修學旅行ニ關シテハ出發期日一週間前ニ其要領ヲ具シ知事ノ指揮ヲ受クヘシ

第四條 左ノ事項ニ關スルモノハ處分後三日以内ニ報告スヘシ但シ緊急事件ハ即時報告ヲ要ス

一、學校及圖書館管理ニ關スル規則ノ設定ノ變更

二、學校ノ圖書館内細則ノ設定ノ變更

三、職員ノ縣外出張

四、生徒ノ主要ナル賞罰、卒業

五、以上ノ外管理ニ關スル事務ニシテ重要ト認メタルモノ

第五條 實業補習學校ニ關シテハ小學校ノ例ニ依ルヘシ

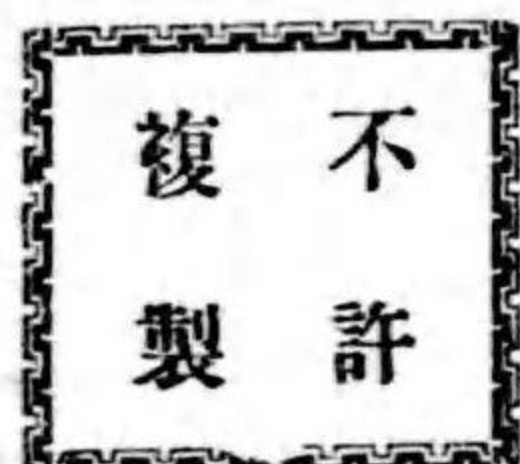
附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十三年三月訓第二十二號郡市立學校ニ關スル規程ハ之ヲ廢止ス

大正三年十二月一日印刷

大正三年十二月十日發行



著 者 遠藤康左衛門

宮城縣牡鹿郡蛇田村百八拾番地

著作兼發行者 高橋隼人

仙臺市表小路一番地

印 刷 者 佐藤三之助

仙臺市表小路一番地

印 刷 所 宮城活版社

(電話二二五番)

宮城縣牡鹿郡蛇田村百八拾番地

發行所

290
697

大正三年十一月十日
大正三年十一月十日

大正三年十一月十日

發行部

發行部

(發行部)

發行部

發行部

發行部

發行部

發行部

發行部

發行部

發行部

終

